

# 令和5年度 第1回高知県食育連携推進協議会

日時：令和5年7月5日（水）午後2時～4時  
場所：高知共済会館 3階 大ホール「桜」  
方法：対面とオンライン（Zoom）の併用開催

## 会次第

### 1 開 会

### 2 議 事

- (1) 会長、副会長の選出
- (2) 令和4年高知県県民健康・栄養調査の結果 <資料1>  
(別冊「令和4年高知県県民健康・栄養調査の概要」)
- (3) 第3期高知県食育推進計画の達成状況及び令和5年度 <資料2>  
の取組について <資料2-1>
- (4) 第4期高知県食育推進計画の目指す姿と基本方針 <資料3>
- (5) 第4期高知県食育推進計画骨子（案） <資料4>
- (6) 第4期高知県食育推進計画策定スケジュール <資料5>
- (7) その他

### 3 閉 会

## 令和5年度第1回食育連携推進協議会 出席者名簿

分野		所属・職名	氏名 (敬称略)	備考
消費者			南 まりな	Web参加
生産者 事業者	生産者	高知県農村女性リーダーネットワーク	窪田 理佳	会場
	流通業者	JA高知県 総括本部 組織人事部 部長	窪田 廉	会場
	販売者	株式会社サニーマート 営業企画CR	有光 みちよ	会場
地域食育活動関係者		高知県食生活改善推進協議会 会長	津野 美也	会場
		NPO法人地域サポートの会さわやか高知 理事長	三谷 英子	会場
		公益社団法人 高知県栄養士会 会長	新谷 美智	会場
教育・学校関係者		高知縣市町村教育委員会連合会 事務局長 (南国市教育委員会 学校教育課 対策監)	江村 良顕	会場
		高知県学校栄養士会 会長	掛水 和美	Web参加
		高知県保育所保護者会連合会事務局	田邊 美紀	代理出席 Web参加
		高知県保育士会 理事	徳平 志保	会場
学識経験者		高知県立大学健康栄養学部 教授	近藤 美樹	会場

任期:令和5年5月22日～令和7年4月30日

### 担当課

部局名等	課名	職名	氏名	備考
健康政策部	薬務衛生課	主査	森田 春花	
農業振興部	農産物マーケティング 戦略課	チーフ (6次産業化担当)	坂田 美佳	
水産振興部	水産業振興課	チーフ (内水面振興担当) 主査	山下 慶太郎 徳弘 芳貴	
教育委員会 事務局	幼保支援課	主任指導主事	二宮 真紀	
	生涯学習課	主幹	松下 学	
	保健体育課	指導主事 (食育・学校給 食・保健担当)	河野 佳奈	
健康政策部	保健政策課 (事務局)	課長	濱田 仁	
		保健推進監	酒井 美枝	
		チーフ (血管病対策担当)	吉松 恵	
		主幹	箭野 しづこ	

## 高知県食育連携推進協議会設置要綱

### (目的)

第1条 本県における食育の推進を図るため、高知県食育連携推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

### (任務)

第2条 協議会は、次の事項について協議するものとする。

- (1) 食に関する関係団体等との連携に関すること
- (2) 食育推進計画の推進に関すること
- (3) その他食育の推進に関する必要な事項

### (委員)

第3条 協議会の委員は、消費者及び生産者・事業者、地域食育活動関係者、教育・学校関係者、学識経験者をもって構成し、知事が委嘱する。

### (組織)

第4条 協議会は、委員12名以内で組織する。

2 協議会には、専門部会を置き、協議することができる。

- (1) 専門部会の委員は、会長が指名して決定する。
- (2) 専門部会は、協議に必要があると認める場合には、必要に応じて委員の出席を求め、助言及び意見を聞くことができる。
- (3) 専門部会で協議し、調整した事項は、協議会へ報告すること。

### (会長及び副会長)

第5条 協議会には、会長1名及び副会長1名を置き、委員の互選により選出する。

- 2 会長は、協議会の会務を統括し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代理する。
- 4 専門部会には、会長の指名により部会長1名を置く。
- 5 部会長は、専門部会の会務を統括し、専門部会を代表する。

### (委員の任期)

第6条 委員の任期は、2年間とする。

- 2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は再任することができる。

### (会議)

第7条 協議会の会議は、必要に応じて会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議は、委員の3分の2の出席により成立するものとする。
- 3 専門部会の会議は、必要に応じて部会長が招集し、部会長が議長となる。
- 4 委員はやむを得ない事情により会議に出席できない場合は、会長または部会長の了解を得て、代理人を会議に出席させることができる。

### (意見の聴取)

第8条 協議会は、必要に応じて助言及び意見を得るため委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、高知県健康政策部保健政策課で行う。

(雑則)

第10条 この要綱で定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附則

- 1 この要綱は、平成19年11月1日から施行する。
- 2 平成18年6月28日から施行の高知県食育推進協議会設置要綱は廃止する。

附則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成24年3月13日から施行する。

附則

この要綱は、平成24年8月29日から施行する。

附則

この要綱は、令和4年6月15日から施行する。

# 令和4年高知県 県民健康・栄養調査の概要



朝食摂取

早寝早起  
朝ごはん



減塩

1日の塩分摂取  
マイナス1g  
たったこれだけ!!



野菜摂取

野菜、もう1皿<sup>(70g)</sup>  
たったこれだけ!!



禁煙

始めよう  
まずは禁煙外来へ!



運動

(約1500歩)  
あと15分歩こう  
5分×3回でもOK!!



節酒

週2日休肝日  
たったこれだけ!!

令和5年3月 高知県

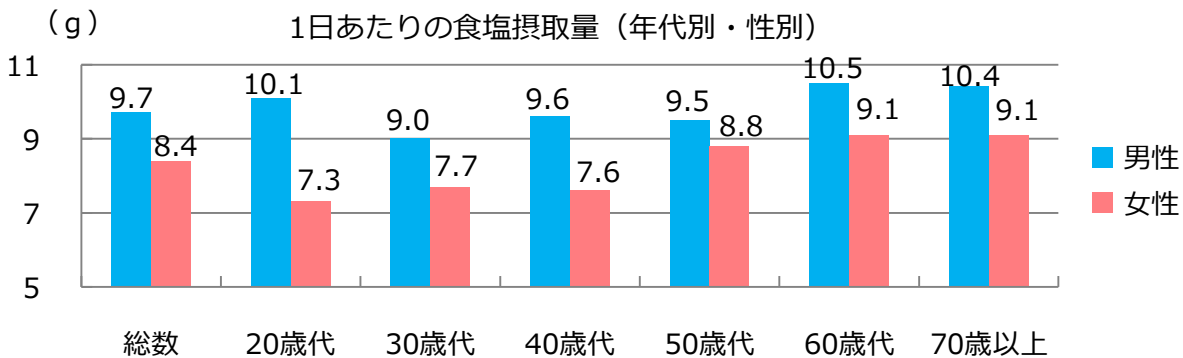
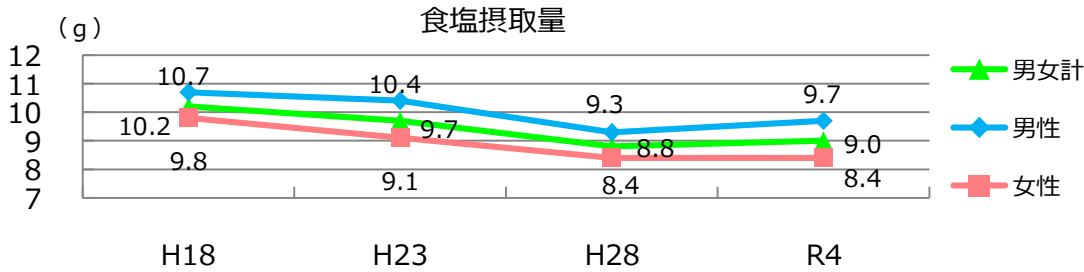
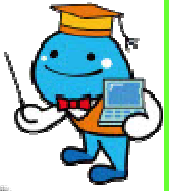
日本一の健康長寿県構想

県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けられるために

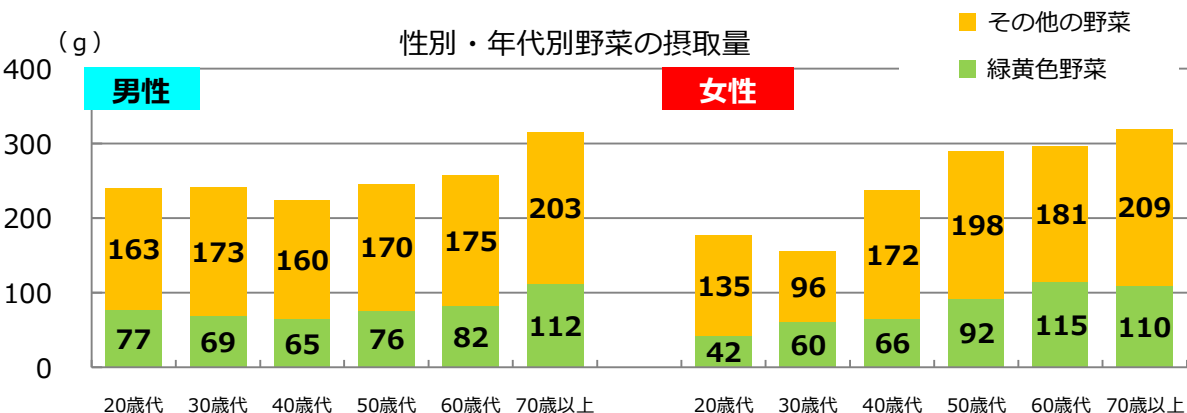
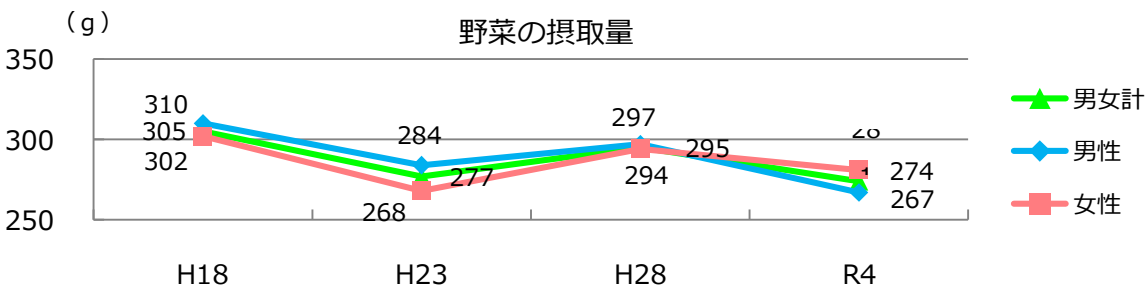
# 栄養・食生活①



食塩の摂取量は減少傾向にあります。  
 しかし、日本人の食事摂取基準（2020年版）によると食塩の目安量は、男性は7.5g未満、女性は6.5g未満となっており、男女とも2gほど多く取っています。  
 食塩の過剰摂取は、高血圧の原因の一つです。うす味を心がけましょう。



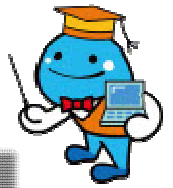
野菜の摂取目標は350g以上ですが、今回の調査では274gでした。  
 野菜が不足すると食物繊維、ビタミン、ミネラルなどが欠乏する恐れがあります。  
 あと一皿の野菜料理（約70g）を食べましょう。



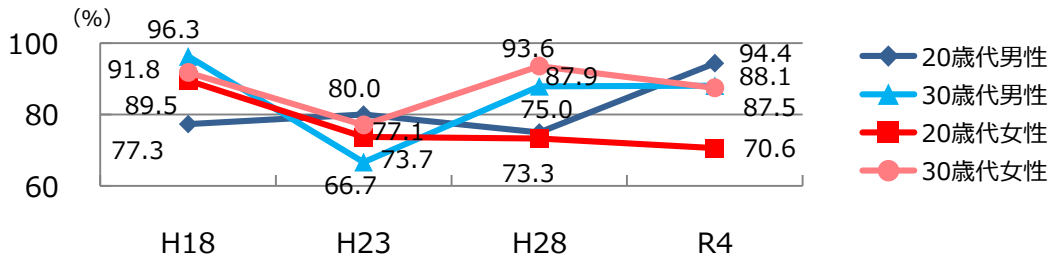
# 栄養・食生活②



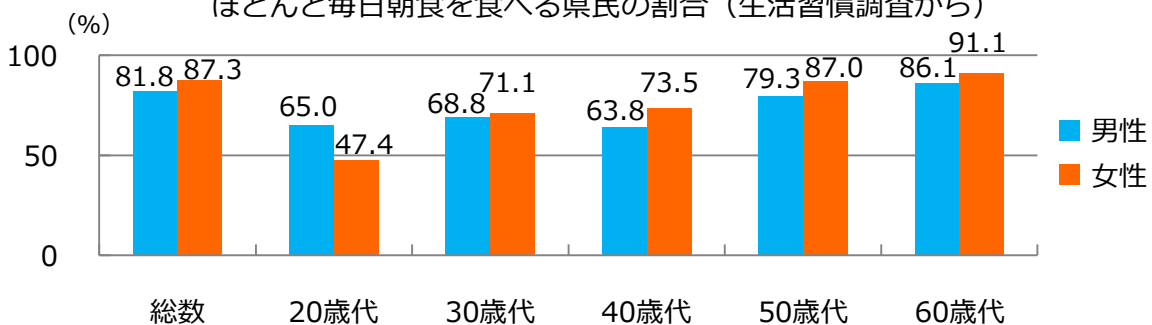
ほとんど毎日朝食を食べる方は84.9%でした。  
朝ごはんは活動エネルギーの供給源です。  
毎日朝食を摂る習慣をつけましょう。



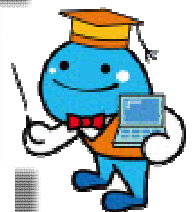
朝食を食べている県民の割合（調査日に朝食を食べていた人）



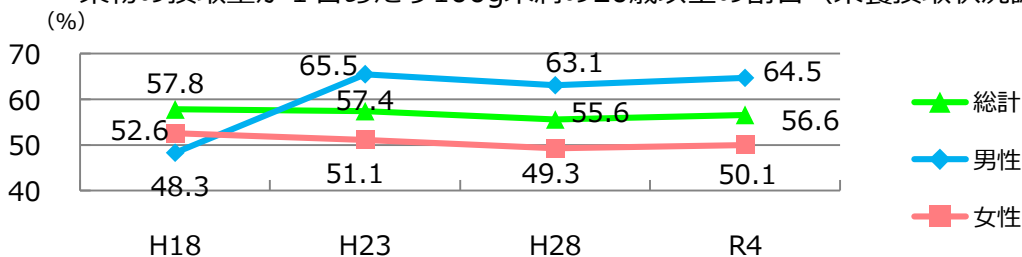
ほとんど毎日朝食を食べる県民の割合（生活習慣調査から）



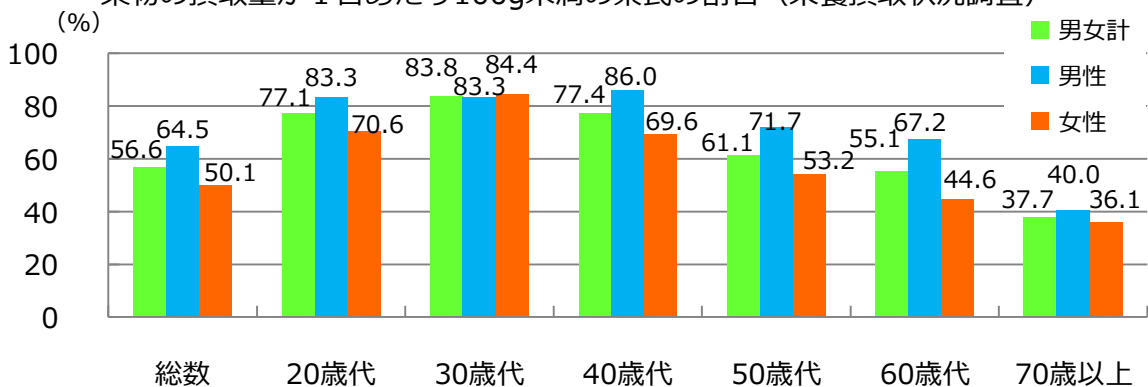
果物の摂取量は1日あたり200gが目安ですが、56.6%の方が100g未満でした。  
果物も野菜と同じく、食物繊維、ビタミン、ミネラルなどの供給源です。  
適量を毎日食べましょう。



果物の摂取量が1日あたり100g未満の20歳以上の割合（栄養摂取状況調査）



果物の摂取量が1日あたり100g未満の県民の割合（栄養摂取状況調査）



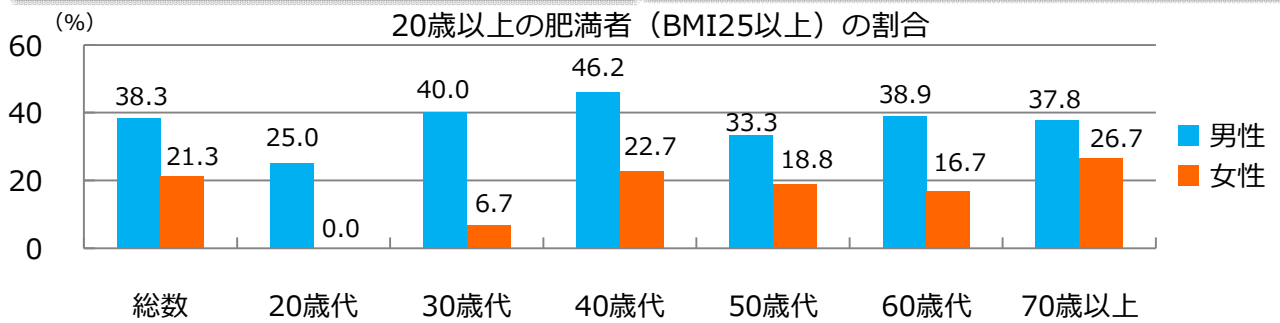
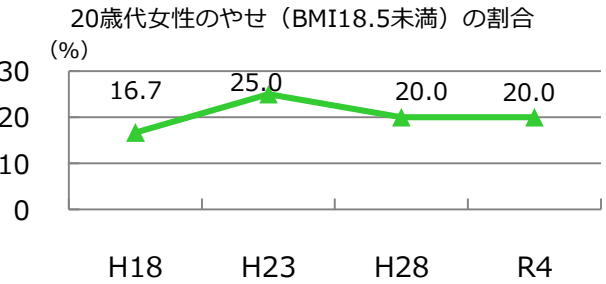
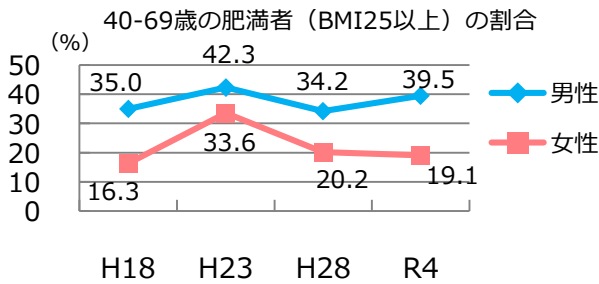
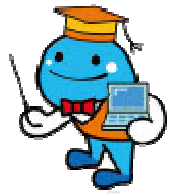
【果物100g〔例〕温州みかん Lサイズ1個、リンゴ ½個、キウイフルーツ1個】



# 体重

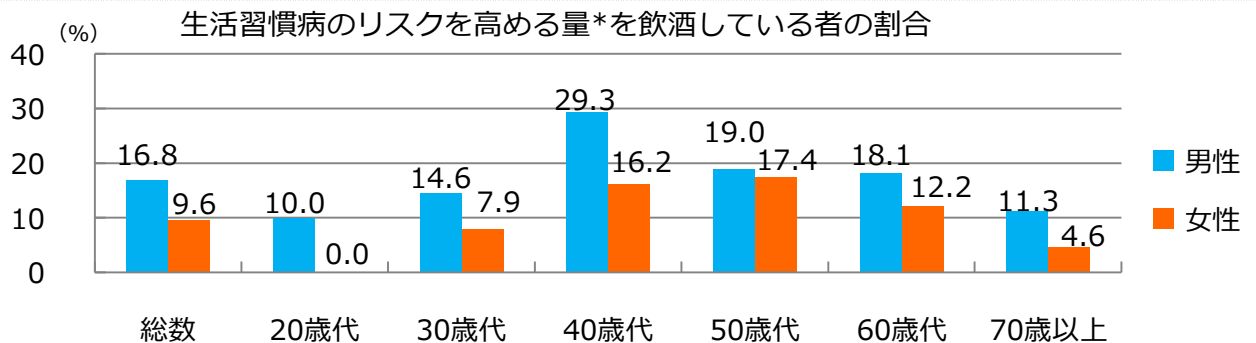
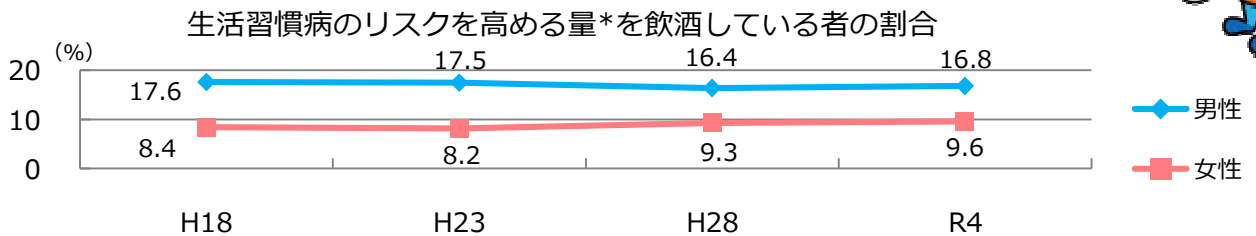
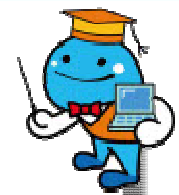
肥満者の割合は男性は増加しました。女性は肥満者の割合、やせの者の割合とも横ばいです。

適正体重の維持が健康の秘訣です。太りすぎ、やせすぎの方は、生活習慣を見直しましょう。



# アルコール

生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合はほぼ横ばいです。休肝日をつくり、適正飲酒（男性は1日2合まで、女性は1日1合まで）を心がけましょう。

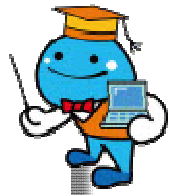


\*生活習慣病のリスクを高める量とは、

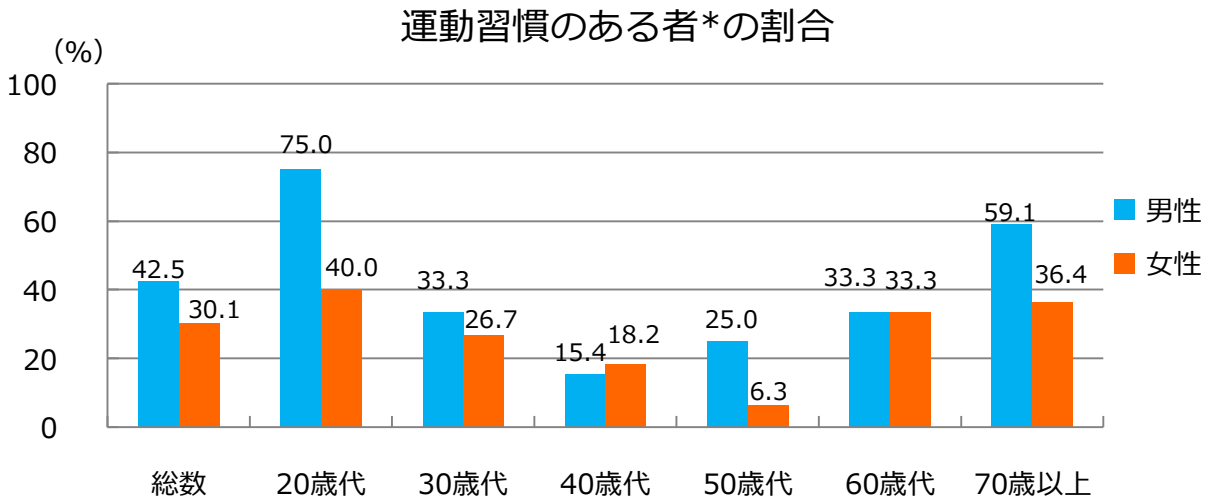
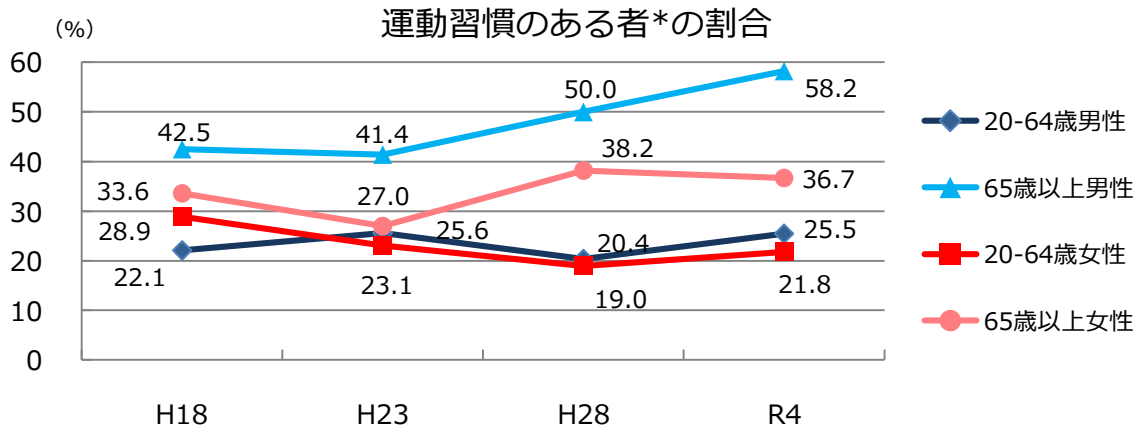
男性 毎日×2合以上、週5~6日×2合以上、週3~4日×3合以上、週1~2日×5合以上、月1~3日×5合以上  
 女性 毎日×1合以上、週5~6日×1合以上、週3~4日×1合以上、週1~2日×3合以上、月1~3日×5合以上



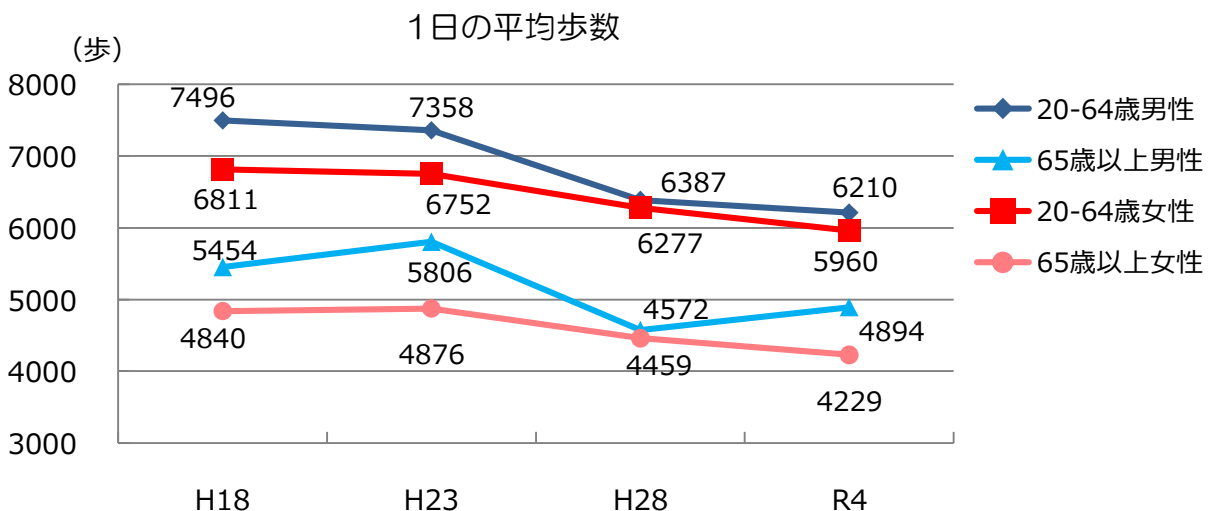
# 運動



若い世代で運動習慣のある者の割合が低くなっています。65歳以上の女性を除いて、運動習慣のある者の割合が増加しています。今より10分多く体を動かしましょう。

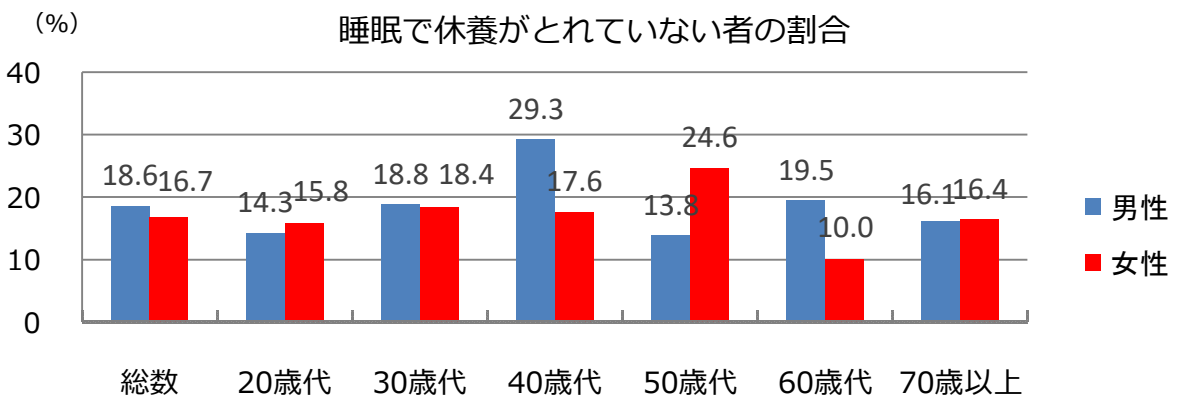
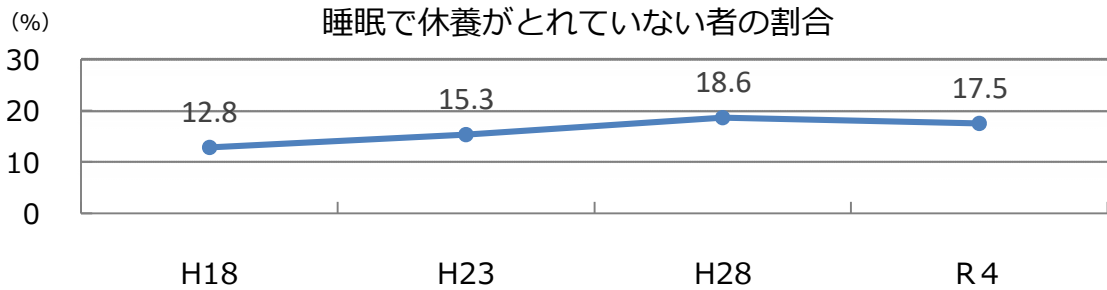
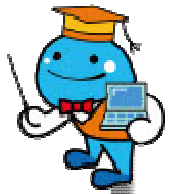


\*運動習慣のある者  
週2日以上、1回30分以上の運動を1年以上続けている者（医師に運動を禁止されている者を除く。）



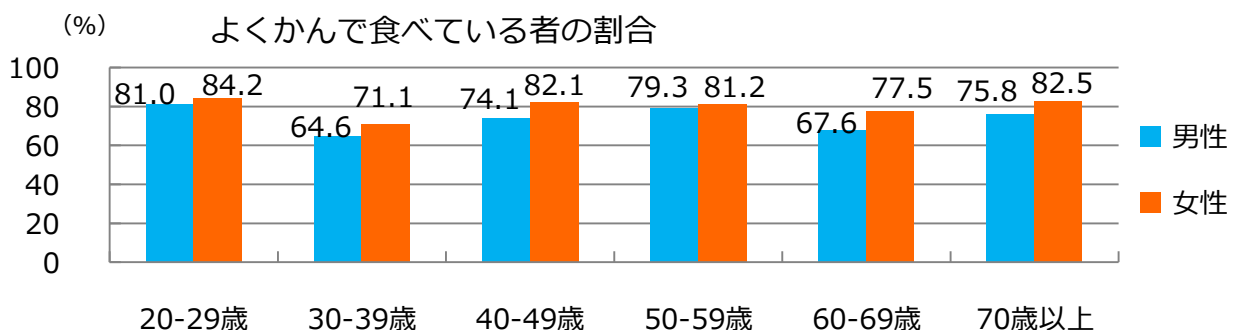
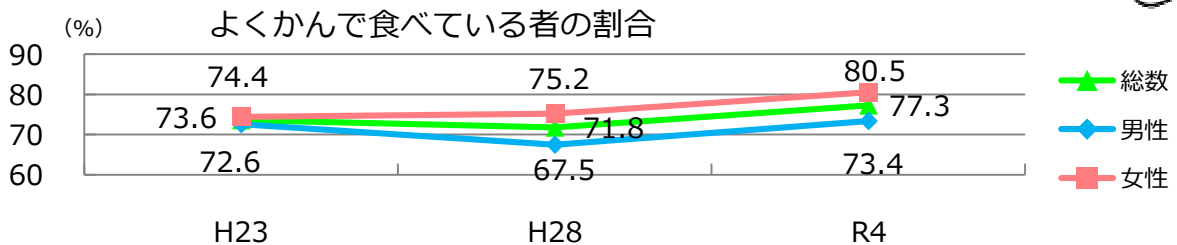
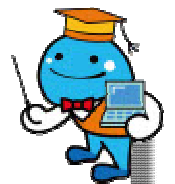
# 休 養

睡眠で休養がとれていない者の割合は減少しています。  
休養で心身の疲れを回復させましょう。



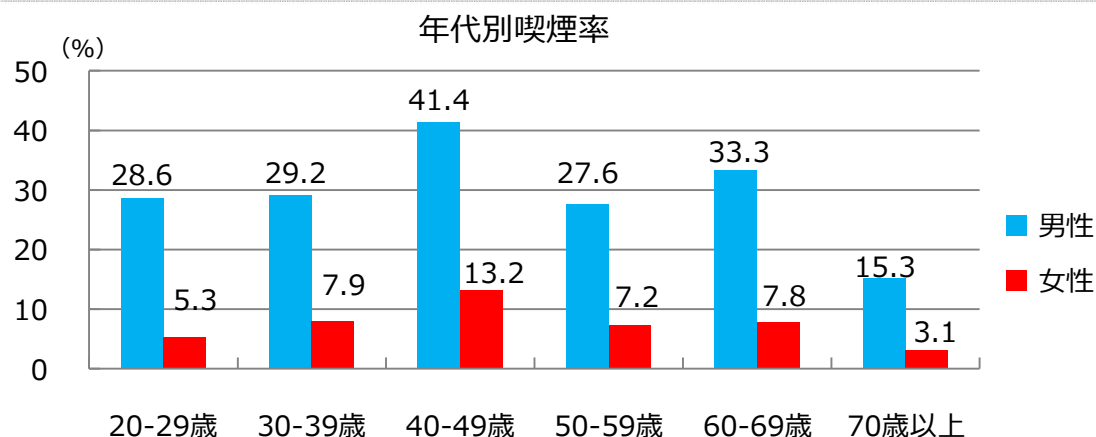
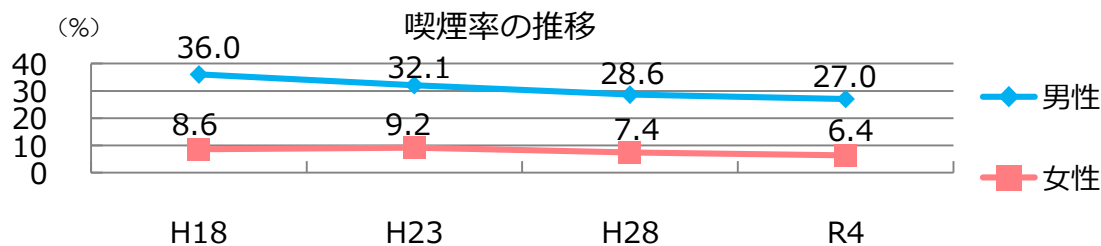
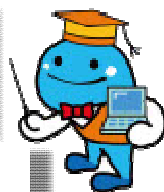
# 歯・口腔

よくかんで食べている者の割合は増加しています。  
ふだんから食べるときには、よくかんで食べる習慣をつけましょう。

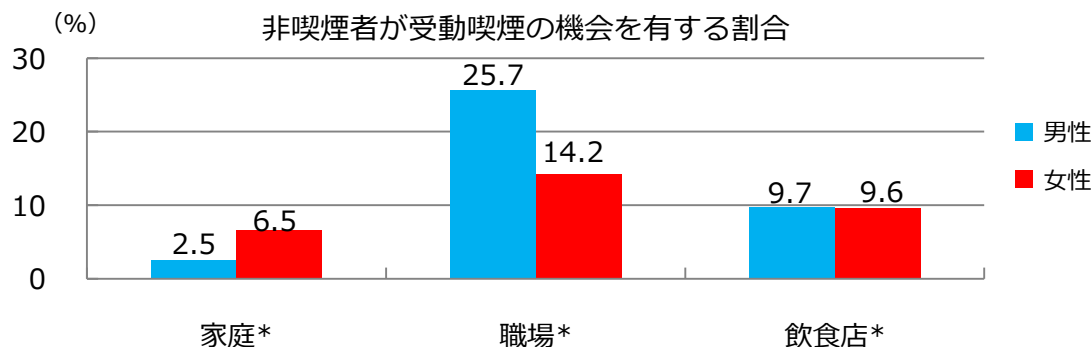
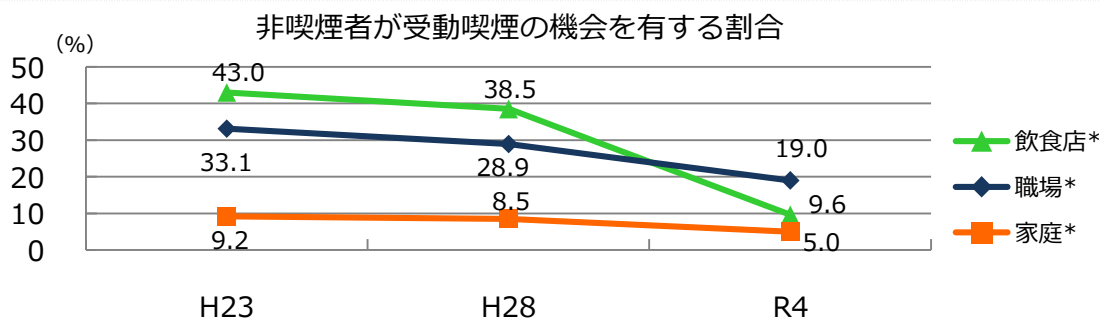
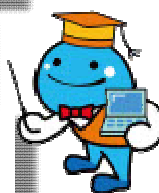


# たばこ

男女とも、喫煙者の割合は減少しています。  
年代別の喫煙率では、男女ともに40歳代が最も高く、男性は41.4%、女性は13.2%となっています。



非喫煙者が受動喫煙の機会を有する割合は減少しています。  
家庭では女性、職場や飲食店では男性が受動喫煙の機会が多くなっています。



\*家庭：毎日受動喫煙の機会があった非喫煙者

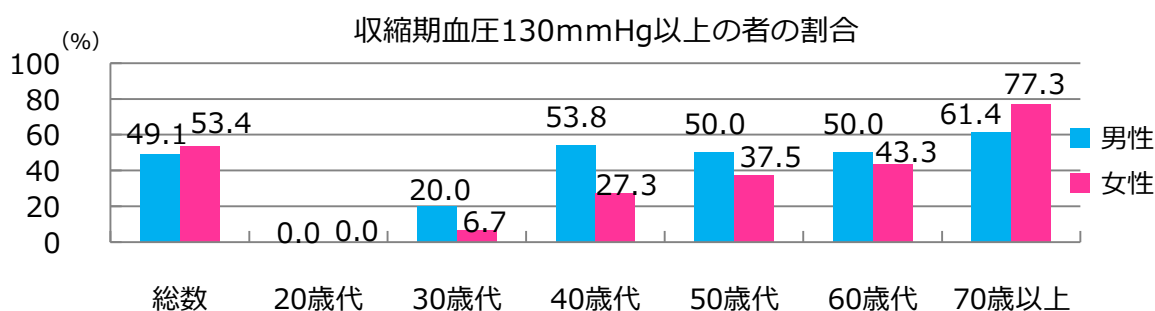
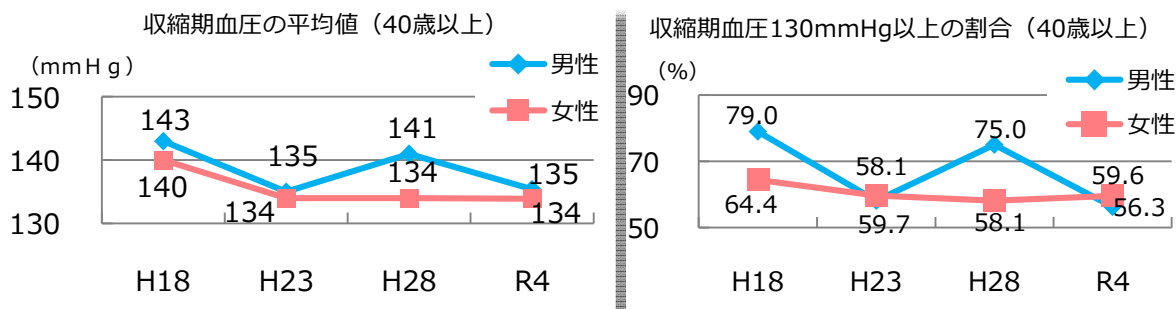
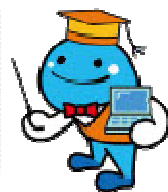
\*職場：月1回以上受動喫煙の機会があった非喫煙者（職場に行かなかった人を除く）

\*飲食店：月1回以上受動喫煙の機会があった非喫煙者（飲食店に行かなかった人を除く）

# 血 圧

血圧（収縮期血圧）の平均値は、男性は低下、女性は横ばいです。また、収縮期血圧130mmHg以上の割合も男女とも減少しています。

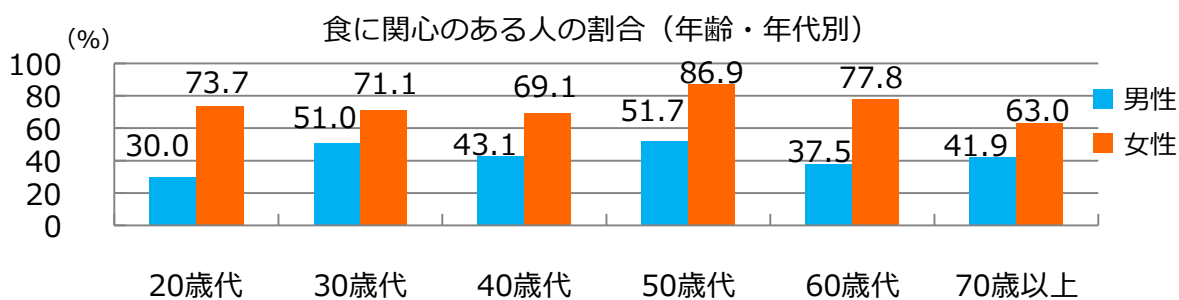
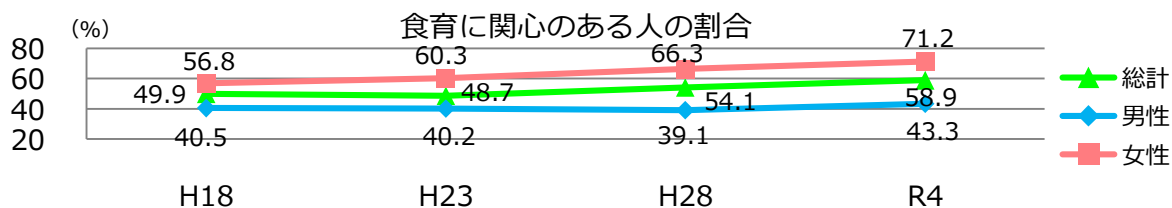
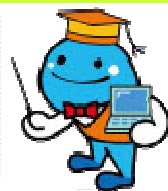
血圧が高い状態が続くと血管を痛め、心臓病や脳卒中などの発症リスクが高くなります。家庭でも血圧を測定されることをお勧めします。



# 食 育

食育に関心のある人の割合は男女とも増加しています。女性に比べ、男性の関心のある人の割合が低くなっています。

食は自分や家族の健康の他、地域の食文化や産業などに関わりがあるので、関心を持つことは大切です。



**発行：高知県健康政策部保健政策課**

住所：〒780-8570 高知県高知市丸ノ内1丁目2番20号（本庁舎4階）

電話：088-823-9648 FAX：088-823-9137

## 第3期高知県食育推進計画の達成状況

◎達成○改善傾向△変わらない×悪化傾向

基本方針	目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
高知家の未来を担う子どもの食育の推進	朝食を必ず食べる児童生徒の割合				
	小学5年生	95%以上	男子 86% 女子 85%	男子 84% 女子 83%	×
	中学2年生	90%以上	男子 80% 女子 79%	男子 78% 女子 74%	×
	高校2年生	85%以上	男子 78% 女子 82%	男子 75% 女子 76%	×
	食に関する指導の年間計画 (各学年)を作成している 学校の割合(小学校・中学校)	100%	85.3%	99%	○
生活リズム名人認定者数	14,000人以上/年 (平成31年度)	17,738名	16,341名	◎	
3歳児保護者に対して基本的生活習慣の学習会等を実施した保育所・幼稚園等の割合	100%	92.2%	100%	◎	
健康長寿を実現する食育の推進	栄養バランスの改善 (1人1日当たりの摂取量)				
	食塩摂取量	8.0g以下	8.8g	9.0g	×
	野菜摂取量	350g以上	295g	274g	×
	果物摂取量 (100g未満の県民の割合)	30%以下	55.6%	56.6%	×
	適正体重を維持している県民の割合 (肥満(BMI25以上)の減少) (やせ(BMI18.5未満)の減少)	40～60歳代 男性の肥満者の割合31%以下	40～60歳代 男性の肥満者の割合34.2%	40～60歳代 男性の肥満者の割合39.5%	×
		40～60歳代 女性の肥満者の割合19%以下	40～60歳代 女性の肥満者の割合20.2%	40～60歳代 女性の肥満者の割合19.1%	○
		20歳代女性のやせの人の割合18%以下	20歳代女性のやせの人の割合20.0%	20歳代女性のやせの人の割合20.0%	△
よくかんで食べている県民の割合	80%以上	71.8%	77.3%	○	
朝食を食べている県民の割合					
	20歳代～30歳代	85%以上	男性 70.8% 女性 87.5%	男性 67.6% 女性 63.2%	×

◎達成○改善傾向△変わらない×悪化傾向

	目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
健康長寿を実現する食育の推進	65歳以上低栄養傾向（BMI20以下）の割合	男性 16%以下 女性 20%以下	男性 16.7% 女性 21.2%	男性 10.7% 女性 18.4%	◎
	1人平均むし歯数	3歳 0.4本以下 12歳 0.5本以下 (令和3年度)	3歳 0.55本 12歳 0.97本	3歳 0.47本 (令和3年度) 12歳 0.68本 (令和2年度)	○
	自分の歯を有する県民の割合	80%以上 (令和3年度)	72.8% (平成27年度)	70.1% (令和2年度)	×
	60歳以上で24本以上 80歳で20本以上	60%以上 (令和3年度)	59.3% (平成27年度)	56.7% (令和2年度)	×
食の理解と継承	学校給食における地場産物の活用 (食品数ベース)	50%	33.9%	43.6%	○
	直販所売上高	100億円 (平成31年度)	95億円 (平成27年度)	102億円 (令和3年度)	◎
	南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動ガイドラインに基づく市町村災害時保健活動マニュアルの策定状況	全市町村	8/34市町村	全市町村	◎
食を育む環境づくり	食生活改善推進員の数	1,800人 維持	1,841人	1,403人	×
	食育に関心を持っている県民の割合	95%以上	54.1%	58.9%	○

# 基本方針：高知家の未来を担う子どもの食育の推進

## 目標項目：朝食を必ず食べる児童生徒の割合

### 1 目標達成状況

◎達成○改善傾向△変わらない×悪化傾向

目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
朝食を必ず食べる児童生徒の割合				
小学5年生	95%以上	男子 86% 女子 85%	男子 84% 女子 83%	×
中学2年生	90%以上	男子 80% 女子 79%	男子 78% 女子 74%	×
高校2年生	85%以上	男子 78% 女子 82%	男子 75% 女子 76%	×

### 2 現状（傾向）

- ・小学5年生→悪化傾向にある
- ・中学2年生→悪化傾向にある
- ・高校2年生→悪化傾向にある

### 3 これまでの取組

- ・小・中・高等学校の授業で副読本を活用した健康教育の実施
- ・食育推進支援事業の実施（食事提供活動、ICT教材の作成）
- ・小学生を対象に地域の住民組織（ヘルスマイト）と連携した健康教育の実施
- ・子どもの健康教育事業の実施（県内小・中学校・高等学校等）

### 4 課題

- ・生活リズム全般に課題のある児童生徒の増加に伴い、朝食摂取を含む健康な生活習慣の確立のための手立てや支援が必要。
- ・望ましい生活習慣を身につけるため、学校・家庭・地域が連携した取組をさらに進めていく必要がある。
- ・引き続き食育を通じた子どもへの健康教育の実施と家庭へ波及していく必要がある。

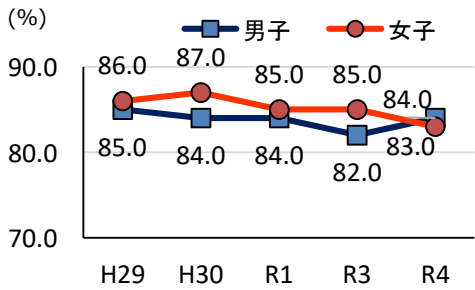
### 5 今後の方向性

- ・朝食を欠食する子どもへの指導や支援の強化
- ・学校・地域・家庭が連携した取組の推進
- ・健康教育を通じた家庭への波及
- ・ヘルスマイトによる健康教育の実施と家庭への波及

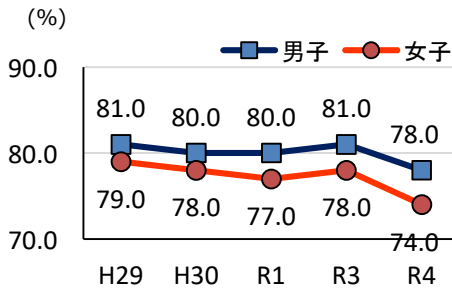


## 朝食を必ず食べる子どもの割合

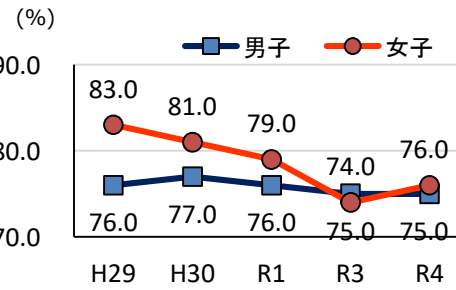
＜小学5年生＞



＜中学2年生＞



＜高校2年生＞

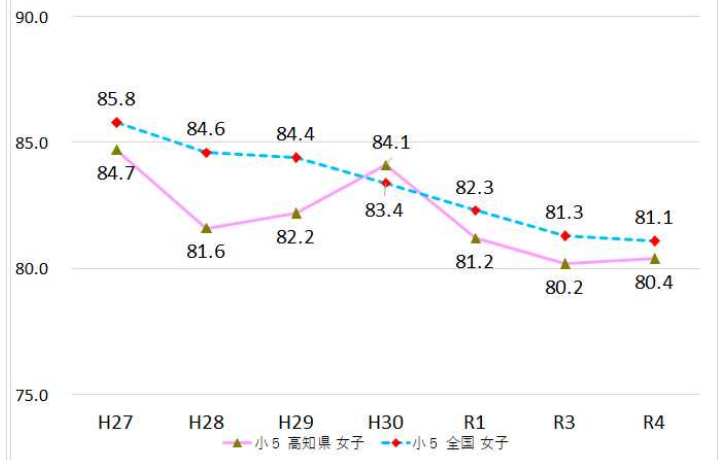


### 【参考】朝食を必ず食べる子どもの割合

毎日朝食を食べる男子児童の割合



毎日朝食を食べる女子児童の割合



【朝食を毎日食べている】		H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4
小5	高知県 男子	84.2	82.5	82.5	83.0	80.4	80.1	81.6
	全国 男子	85.3	84.0	84.1	83.0	82.2	81.9	82.3

【朝食を毎日食べている】		H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4
小5	高知県 女子	84.7	81.6	82.2	83.4	81.2	80.2	80.4
	全国 女子	85.8	84.6	84.4	84.1	82.3	81.3	81.1

出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)

- ・毎日朝食を食べる児童の割合は全国的にも低下傾向にある。

基本方針：高知家の未来を担う子どもの食育の推進

目標項目：食に関する指導の年間計画（各学年）を作成している学校の割合（小学校・中学校）

## 1 目標達成状況

◎達成○改善傾向△変わらない×悪化傾向

目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
食に関する指導の年間計画 （各学年）を作成している 学校の割合（小学校・中学校）	100%	85.3%	99%	○

## 2 現状（傾向）

- ・指導の年間計画 →改善傾向  
作成している学校：小学校100%、中学校96.8%  
※未作成は栄養教諭未配置の中学校3校

## 3 これまでの取組

- ・研修会等において実施状況や年間計画の必要性及び作成方法について周知

## 4 課題

- ・未作成校への年間計画作成の支援が必要

## 5 今後の方向性

- ・年間計画の作成例をもとに、未作成校（3校）の計画作成を支援

# 基本方針：高知家の未来を担う子どもの食育の推進

## 目標項目：生活リズム名人認定者数

### 1 目標達成状況

◎達成○改善傾向△変わらない×悪化傾向

目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
生活リズム名人認定者数	14,000人以上／ 年 (平成31年度)	17,738名	16,341名	◎

### 2 現状（傾向）

生活リズム名人認定者数 ⇒ 変わらない

（単年度ごとでは増減があるが、複数年度で見ると増加・減少が続いている年度はない）

### 3 これまでの取組

- ・啓発用キャラクターツールの貸し出し（通年）
- ・生活リズムチェックカードの配布
- ・生活リズム認定証の送付（通年）
- ・「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム」食育についての取組

### 4 課題

- ・フォーラムについては参加者の伸び悩みがあるため、さらなる開催内容の工夫や周知が必要

### 5 今後の方向性

- ・保幼小中PTAと協働で生活リズムチェックカードの取組及び認定率向上を目指す。
- ・「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム」の継続した開催
- ・関係団体と連携し、食育推進を強化

# 基本方針：高知家の未来を担う子どもの食育の推進

## 目標項目：3歳児保護者に対して基本的生活習慣の学習会等を実施した保育所・幼稚園等の割合

### 1 目標達成状況

◎達成 ○改善傾向 △変わらない ×悪化傾向

目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
3歳児保護者に対して基本的生活習慣の学習会等を実施した保育所・幼稚園等の割合	100%	92.2% (273園)	100% (285園)	◎

### 2 現状（傾向）

- ・学習会等の実施→改善傾向にある

### 3 これまでの取組

- ・3歳児保護者を対象に基本的生活習慣に関するパンフレットの配付や学習会等を実施
- ・取組強調月間の実施（6月・11月）
- ・基本的生活習慣に係る親育ち支援研修保護者講話の実施
- ・取組強調月間の取組に関するアンケートの集計・事業効果の分析

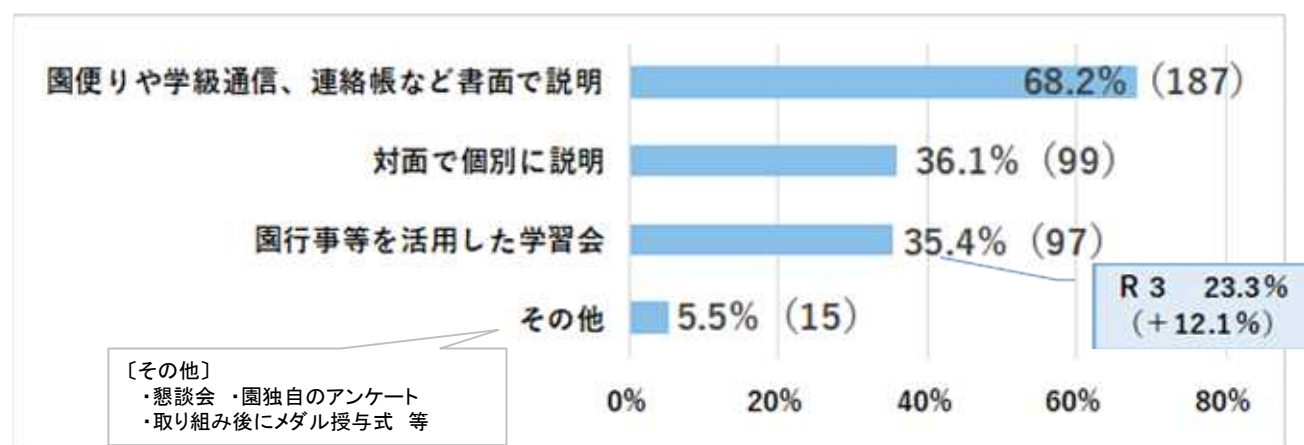
### 4 課題

- ・園行事等を活用した学習会については、コロナにより実施数は落ち込んだが、対面による学習会を実施する園は増えており、継続した学習会の実施が必要  
(R2:45園、R3:59園、R4:97園)

### 5 今後の方向性

- ・園での学習会の取組の工夫等について、ホームページや研修会等で発信、啓発する。

令和4年度 学習会等の取組実施内容について(複数回答) ※実施園数274園に対する割合(実施園数)



# 基本方針：健康長寿を実現する食育の推進

## 目標項目：バランスのとれた食生活の実践（1人1日当たりの摂取量） 適正体重を維持している県民の割合

### 1 目標達成状況

◎達成○改善傾向△変わらない×悪化傾向

目標項目	目標値 令和5年度	策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
食塩摂取量	8.0g以下	8.8g	9.0g	×
野菜摂取量	350g以上	295g	274g	×
果物摂取量 (100g未満の県民の割合)	30%以下	55.6%	56.6%	×
適正体重を維持している県民の割合 (肥満(BMI25以上)の減少) (やせ(BMI18.5未満)の減少)	40～60歳代男性の 肥満者の割合31% 以下	40～60歳代男性の 肥満者の割合 34.2%	40～60歳代男性の 肥満者の割合 39.5%	×
	40～60歳代女性の 肥満者の割合19% 以下	40～60歳代女性の 肥満者の割合 20.2%	40～60歳代女性の 肥満者の割合 19.1%	○
	20歳代女性のやせの 人の割合18%以下	20歳代女性のやせ の人の割合20.0%	20歳代女性のやせ の人の割合20.0%	△

### 2 現状（傾向）

- ・食塩摂取量→悪化傾向にある
- ・野菜摂取量→悪化傾向にある
- ・果物摂取量（100g未満の割合）→悪化傾向にある
- ・肥満（BMI25以上）の人の割合→男性は悪化傾向にある、女性は改善傾向にある
- ・やせ（BMI18.5未満）の人の割合→変わらない

### 3 これまでの取組

- ・特定健診、特定保健指導の実施率向上等の生活習慣病対策
- ・食生活改善推進協議会による減塩、野菜摂取等の普及啓発
- ・推定塩分摂取量測定事業による減塩の啓発
- ・高知家健康パスポートによる健康的な保健行動の定着化の促進
- ・高知家健康チャレンジによる量販店等での普及啓発（減塩及び野菜摂取、運動）
- ・健康づくり啓発事業や健康づくりひとくちメモ等、マスメディアを活用した啓発

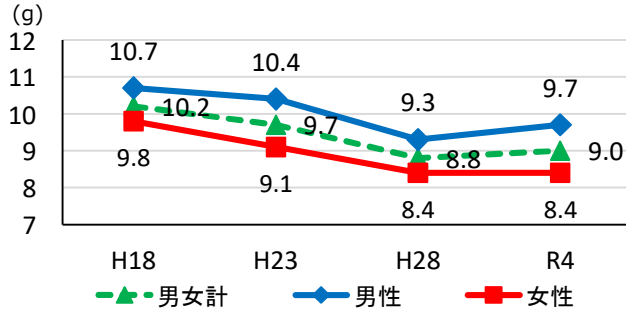
### 4 課題

- ・健康意識を高めるためのさらなる県民への普及啓発が必要
- ・40～60歳代男性の肥満者の割合が増加（悪化）傾向にあるため、働きざかり世代の男性等の健康意識の醸成や健康的な保健行動の定着化を促す必要がある。
- ・行動変容に結び付けることができる取組が必要

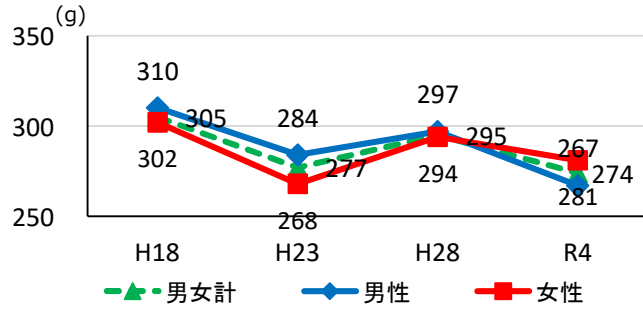
### 5 今後の方向性

- ・マスメディア等を活用した継続的な啓発に加え、日常生活で身近な量販店・コンビニ等の民間事業者、市町村及び健康づくり関連団体等官民協働による普及啓発
- ・県内事業者における職場の健康づくり（健康経営）の取組の継続支援  
例：健康経営のツールとして健康パスポートアプリの活用を促進

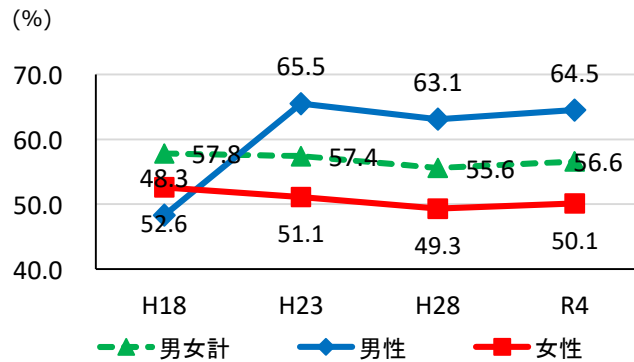
### <食塩摂取量>



### <野菜の摂取量>



### <果物の摂取量が1日あたり100g未満の20歳以上の割合>



# 基本方針：健康長寿を実現する食育の推進

## 目標項目：よくかんで食べている県民の割合

### 1 目標達成状況

◎達成 ○改善傾向 △変わらない ×悪化傾向

目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
よくかんで食べている県民の割合	80%以上	71.8%	77.3%	○

### 2 現状（傾向）

・よくかんで食べている県民の割合⇒改善傾向にある

### 3 これまでの取組

- ・小・中・高校生用副読本において、歯・口腔の健康について啓発
- ・「6024(60歳において現在歯を24本以上有する人)」を増やすため、むし歯・歯周病予防対策として定期的な歯科健診の重要性等をマスメディア等を通じて啓発
- ・歯科医師会と市町村の集合契約により成人妊婦歯科健診の体制を構築
- ・オーラルフレイル予防複合プログラムとして、噛みごたえと栄養バランスを考慮した食事を啓発

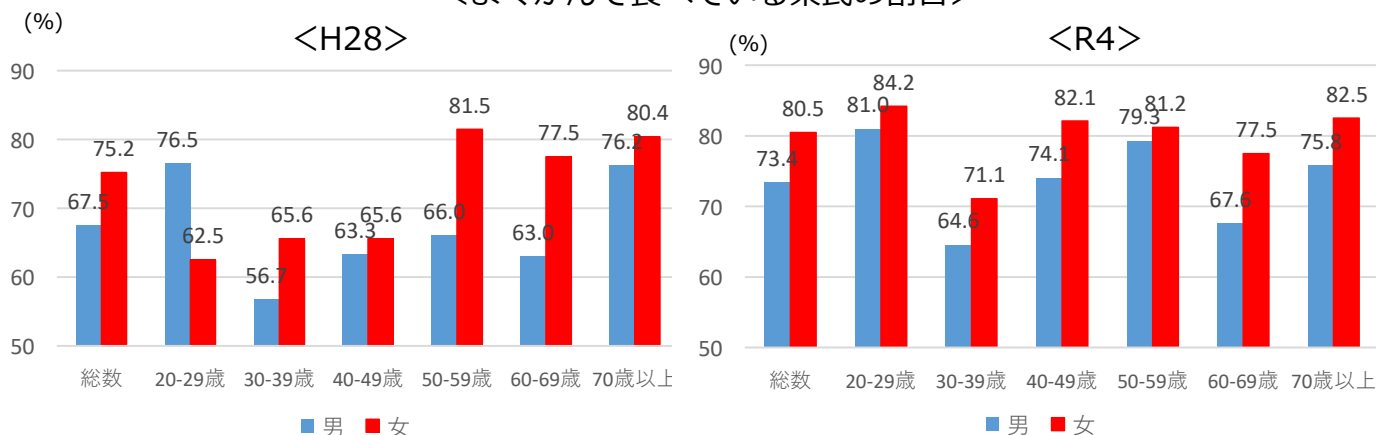
### 4 課題

- ・引き続き、副読本を活用した健康教育が必要
- ・各市町村で歯科健診が受けられる体制は一定整ったが、県民の受診行動の定着には至っていない
- ・通いの場において、口腔体操に加えて噛みごたえのある食事の重要さの啓発が必要

### 5 今後の方向性

- ・副読本を活用した健康教育を継続
- ・歯科保健関係団体と連携し、マスメディア等を活用した歯周病予防啓発を実施
- ・オーラルフレイル予防複合プログラムのマニュアルを作成し、各市町村に展開

ふだん食べている時の状況  
＜よくかんで食べている県民の割合＞





# 基本方針：健康長寿を実現する食育の推進

## 目標項目：朝食を食べている県民の割合

### 1 目標達成状況

◎達成 ○改善傾向 △変わらない ×悪化傾向

目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
朝食を食べている県民の割合 20-30歳代	85%以上	男性 70.8% 女性 87.5%	男性 67.6% 女性 63.2%	×

### 2 現状（傾向）

- ・朝食を食べている県民の割合 20-30歳代男性→悪化傾向にある  
20-30歳代女性→悪化傾向にある

### 3 これまでの取組

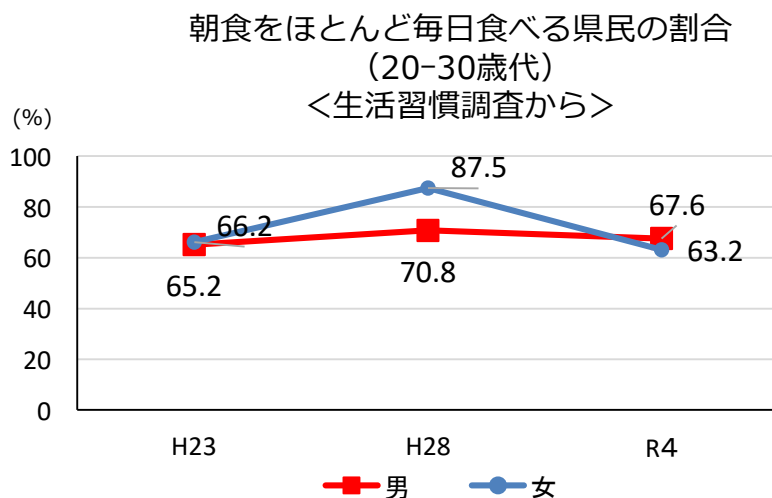
- ・食育イベントを開催し、地域において朝食摂取の重要性について普及啓発
- ・ヘルスメイトによる学校における食育講座を実施し、朝食の大切さについて普及啓発し、子どもから家庭へと波及効果を図った。
- ・事業所等で出前講座による普及啓発

### 4 課題

- ・基本的な生活習慣は子どもの頃に定着するため、子どもの頃からの望ましい生活習慣を身につけることが必要
- ・朝食摂取の重要性を理解するための継続した普及啓発が必要

### 5 今後の方向性

- ・子どもの頃からの健康教育を継続し、家庭への波及
- ・広報やマスメディア（TV）、出前講座等による継続した普及啓発



# 基本方針：健康長寿を実現する食育の推進

## 目標項目：65歳以上低栄養傾向（BMI20以下）の割合

### 1 目標達成状況

◎達成○改善傾向△変わらない×悪化傾向

目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
65歳以上低栄養傾向（BMI20以下）の割合	男性 16%以下 女性 20%以下	男性 16.7% 女性 21.2%	男性 10.7% 女性 18.4%	◎

### 2 現状（傾向）

- ・65歳以上の低栄養傾向の割合 男性→達成  
女性→達成

### 3 これまでの取組

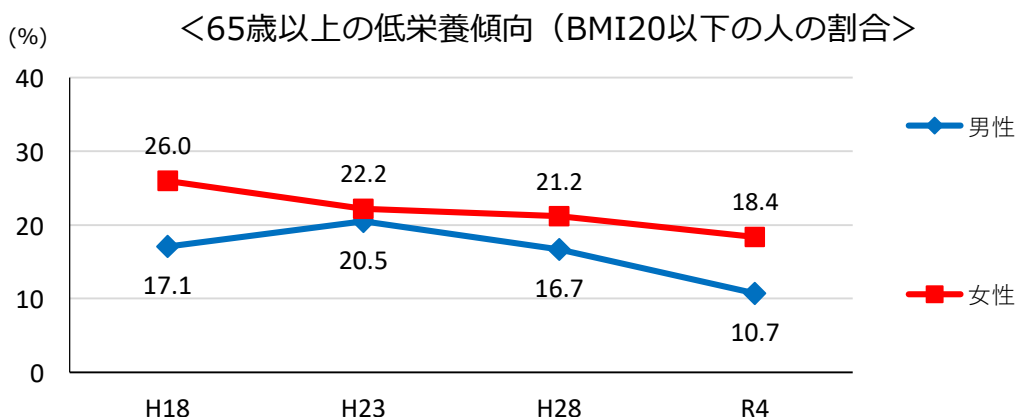
- ・低栄養予防のため啓発資材を作成し、栄養からのフレイル予防について普及啓発
- ・低栄養予防レシピを作成し、高齢者に関わる事業所等に周知及び地域の住民組織と連携し、地域へ普及啓発

### 4 課題

- ・栄養からのフレイル予防のために、日ごろからたんぱく質の確保や噛みごたえのある食事を取り入れる等の普及啓発が必要

### 5 今後の方向性

- ・関係機関と連携し高齢者に低栄養予防の普及啓発を実施
- ・オーラルフレイル予防と合わせた取り組みの推進



# 基本方針：健康長寿を実現する食育の推進

## 目標項目：1人平均むし歯数

### 1 目標達成状況

◎達成 ○改善傾向 △変わらない ×悪化傾向

目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
1人平均むし歯数	3歳 0.4本以下 12歳 0.5本以下	3歳 0.55本 12歳 0.97本	3歳 0.47本 (令和3年度) 12歳 0.68本 (令和2年度)	○

### 2 現状（傾向）

- ・一人平均むし歯数 ⇒改善傾向にある

### 3 これまでの取組

- ・フッ化物応用推進のため関係者への説明会等を実施し、施設や市町村の支援
- ・ブラッシングの定着や食育を通じたむし歯・歯肉炎予防のための健康教育を実施（副読本・出前講座）

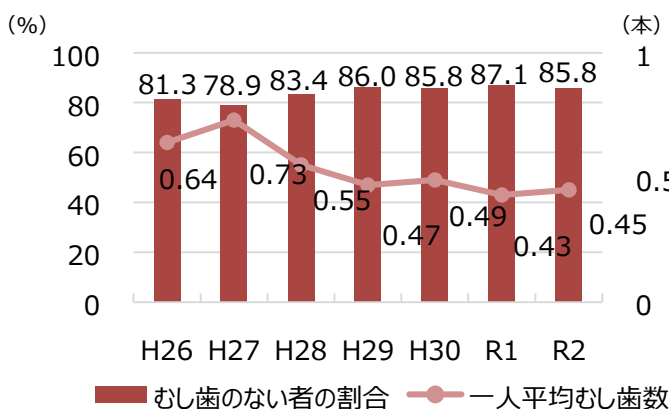
### 4 課題

- ・フッ化物洗口実施率は向上しているが、市町村間で差があり、実施率が低い市町村への支援が必要
- ・引き続き、副読本を活用した健康教育が必要

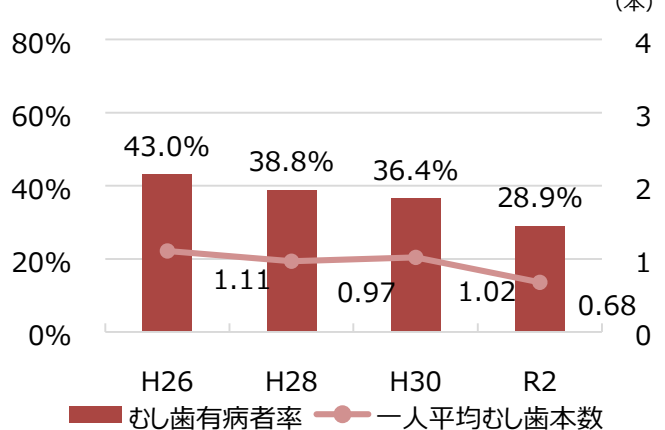
### 5 今後の方向性

- ・フッ化物洗口導入及び既の実施している施設フォローアップに向けた支援
- ・副読本を活用した健康教育を継続

【3歳児一人平均むし歯数、むし歯のない児の割合】



【12歳一人平均むし歯数とむし歯有病者率】



# 基本方針：健康長寿を実現する食育の推進

## 目標項目：自分の歯を有する県民の割合

### 1 目標達成状況

◎達成 ○改善傾向 △変わらない ×悪化傾向

目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
自分の歯を有する県民の割合				
60歳で24本以上	80%以上 (令和3年度)	72.8% (平成27年度)	70.1% (令和2年度)	×
80歳で20本以上	60%以上 (令和3年度)	59.3% (平成27年度)	56.7% (令和2年度)	×

### 2 現状（傾向）

#### 自分の歯を有する県民の割合

- ・60歳で24本以上⇒悪化傾向にある
- ・80歳で20本以上⇒悪化傾向にある

### 3 これまでの取組

- ・歯科医師会と市町村の集合契約により成人妊婦歯科健診の体制を構築
- ・マスメディアを活用し、歯周病と全身疾患の関係性等を周知
- ・オーラルフレイル予防複合プログラムによるオーラルフレイル予防啓発の実施

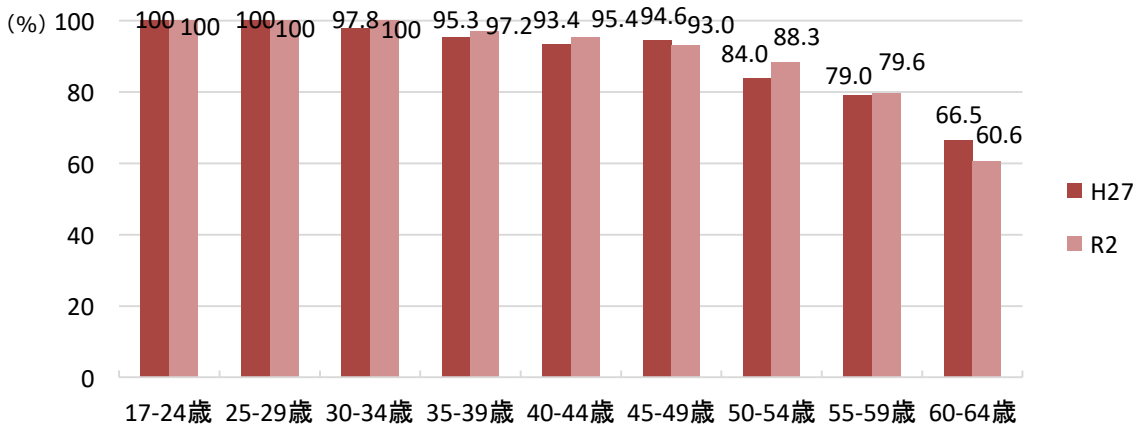
### 4 課題

- ・各市町村で歯科健診が受けられる体制は一定整ったが、県民の受診行動の定着には至っていない
- ・通いの場において、口腔体操に加えて噛みごたえのある食事の重要さの啓発が必要

### 5 今後の方向性

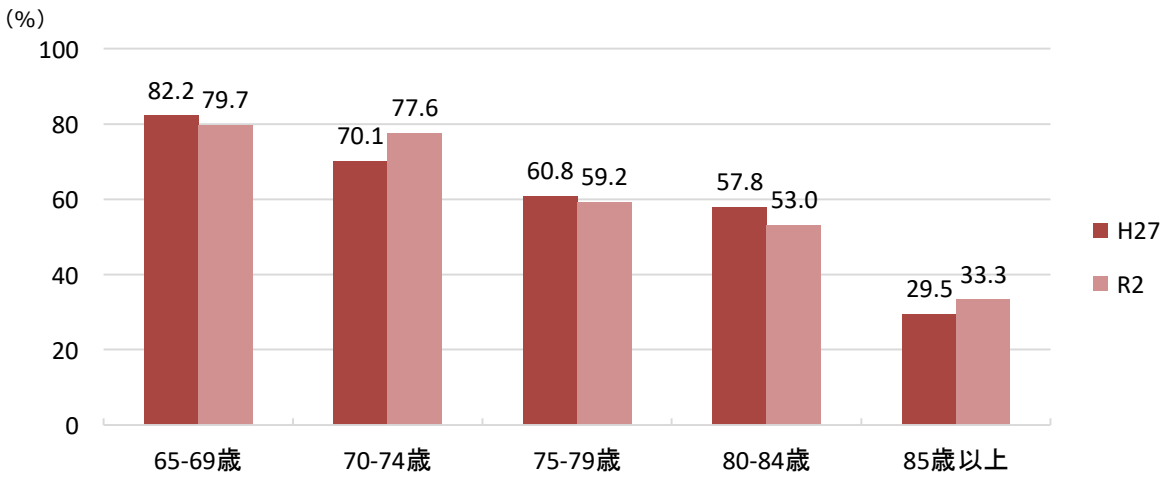
- ・歯科保健関係団体と連携し、マスメディア等を活用した歯周病予防啓発を実施
- ・オーラルフレイル予防複合プログラムのマニュアルを作成し、各市町村に展開

【自分の歯を24本以上有する者の割合】



出典：(H27) 高知県歯と口の健康づくり実態調査（高知県）  
 (R2) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査をもとに  
 智歯を加味して再集計したもの

【自分の歯を20本以上有する者の割合】



出典：(H27) 高知県歯と口の健康づくり実態調査（高知県）  
 (R2) 令和2年度高知県歯と口の健康づくり実態調査をもとに  
 智歯を加味して再集計したもの

# 基本方針：食の理解と継承

## 食の安全・安心の確保

### 1 目標達成状況

◎達成○改善傾向△変わらない×悪化傾向

プロセス指標	プロセス指標値 令和5年度	計画策定時 平成27年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
消費者を対象とした食品衛生に関する講習回数	90回以上	88回 (平成23～27年度の平均)	21回	×
消費者を対象とした食品表示に関する講習回数	20回以上	-	14回	○
意見交換会(リスクコミュニケーション)の開催	10回以上	6回	6回	△

### 2 現状（傾向）

- ・消費者を対象とした食品衛生に関する講習回数⇒悪化傾向にある
- ・消費者を対象とした食品表示に関する講習回数⇒改善傾向にある
- ・意見交換会(リスクコミュニケーション)の開催⇒変わらない

### 3 これまでの取組

- ・学生や地域の団体(ヘルスマイト等)に対する講習会（衛生、表示）
- ・食の安全・安心に関する意見交換会の開催

### 4 課題

- ・新型コロナウイルスの影響により講習会の機会が減少  
(参考：令和元年度 食品衛生講習97回、食品表示講習19回)  
⇒講習会以外の手法による、消費者への正確な情報発信

### 5 今後の方向性

- ・第4次食の安全・安心推進計画に基づき、引き続き取組を進める
- ・ホームページやSNS等を用いた情報発信を強化

# 基本方針：食の理解と継承

## 目標項目：学校給食における地場産物の活用（食品数ベース）

### 1 目標達成状況

◎達成 ○改善傾向 △変わらない ×悪化傾向

目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
学校給食における地場産物の活用 (食品数ベース)	50%	33.9%	43.5%	○

### 2 現状（傾向）

- ・地場産物の活用→改善傾向

### 3 これまでの取組

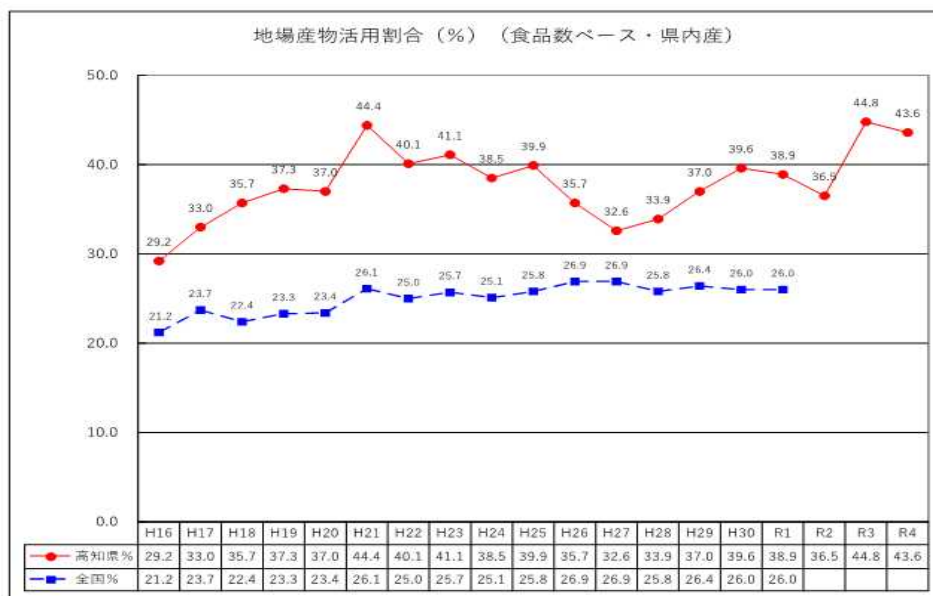
- ・市町村教育委員会を通じて各学校及び給食センターへ地場産物を食品数ベースで50%以上活用した取組を実施（高知家のカレー・高知家のおだし・高知のたべものいっぱい入っちゅう日）

### 4 課題

- ・活用率の低い地域に対しての改善が必要

### 5 今後の方向性

- ・活用率の低い地域の課題を把握し、活用に向けた取組支援





# 基本方針：食の理解と継承

## 目標項目：直販所売上高

### 1 目標達成状況

◎達成○改善傾向△変わらない×悪化傾向

目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況)
直販所売上高	100億円 (平成31年度)	95億円 (平成27年度)	102億円 (令和3年度)	◎

### 2 現状（傾向）

- ・売上は5年連続100億円を超え、目標を達成できた。
- ・来店者数や出荷品目の減少により、売上が伸び悩んでいる店舗があるが、店舗のリニューアルや加工品の製造などを行い、コロナ禍でも売り上げを伸ばしている店舗もある。

### 3 これまでの取組

- ・直販所における農産物等の安全・安心対策の推進に向け、農林水産物直販所「安心係」養成講座を毎年開催
- ・直販所の経営力向上に向けたセミナーや直販所交流会の開催

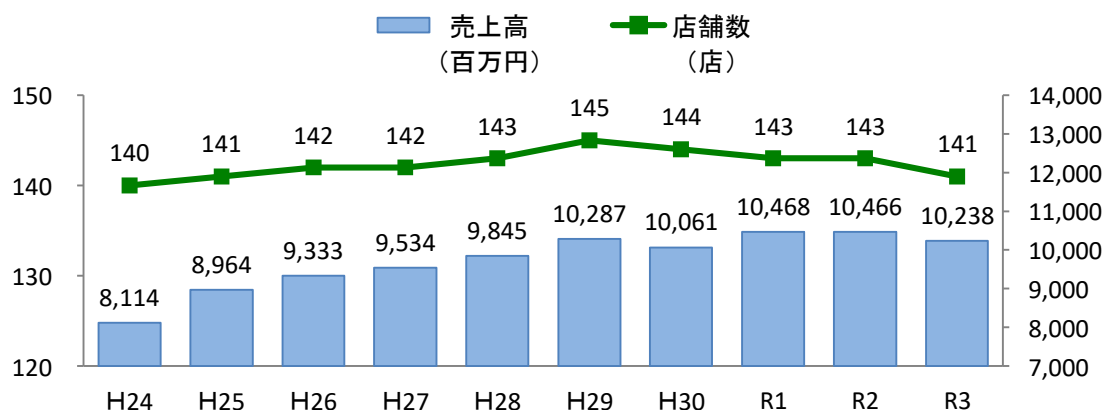
### 4 課題

- ・出荷者の高齢化が進み、生産物の確保が難しくなりつつある直販所では経営が悪化しており、経営力向上に向けた支援が必要
- ・地域住民の雇用や生活を支える地域の拠点としての機能の維持が強く求められている。

### 5 今後の方向性

- ・直販所維持に向けた経営力向上支援

#### 県内の直販所店舗数・売上高の推移



# 基本方針：食の理解と継承

## 目標項目：南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動ガイドラインに基づく市町村災害時保健活動マニュアルの策定状況

### 1 目標達成状況

◎達成○改善傾向△変わらない×悪化傾向

目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動ガイドラインに基づく市町村災害時保健活動マニュアルの策定状況	全市町村	8/34市町村	全市町村	◎

### 2 現状（傾向）

- ・南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動ガイドラインに基づく市町村災害時保健活動マニュアルの策定状況→達成（全市町村）

### 3 これまでの取組

- ・南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動ガイドラインVer 2を策定
- ・県と高知県栄養士会が連携し「高知県大規模災害時における栄養支援チームマニュアルVer 2」を改定し、災害時の応援体制について整備
- ・全市町村の南海トラフ地震時保健活動マニュアルに「栄養・食生活」に関する対策を記載
- ・行政栄養士への育成研修の実施
- ・災害時の家庭での備蓄について、リーフレットを作成し、地域へ普及啓発

### 4 課題

- ・保健活動と連携し、南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動ガイドラインに基づいた栄養・支援活動の整備が必要
- ・県栄養士会と連携し、災害時の支援体制の強化が必要

### 5 今後の方向性

- ・南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動ガイドラインによる栄養・食生活支援活動の整備
- ・県栄養士会と連携した災害時の栄養・食生活支援時の支援体制の強化

# 基本方針：高知家の未来を担う子どもの食育の推進

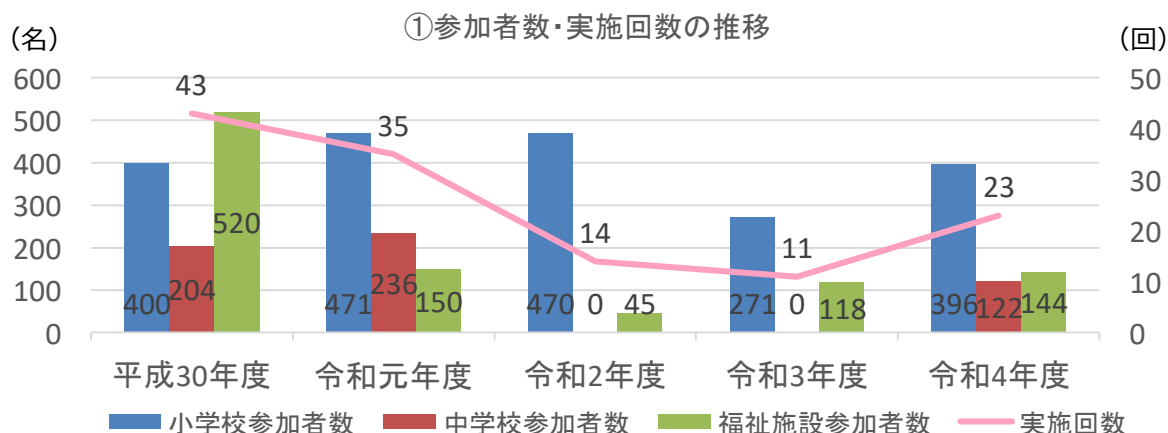
## (2) 食の実践力の獲得

### 1 現状

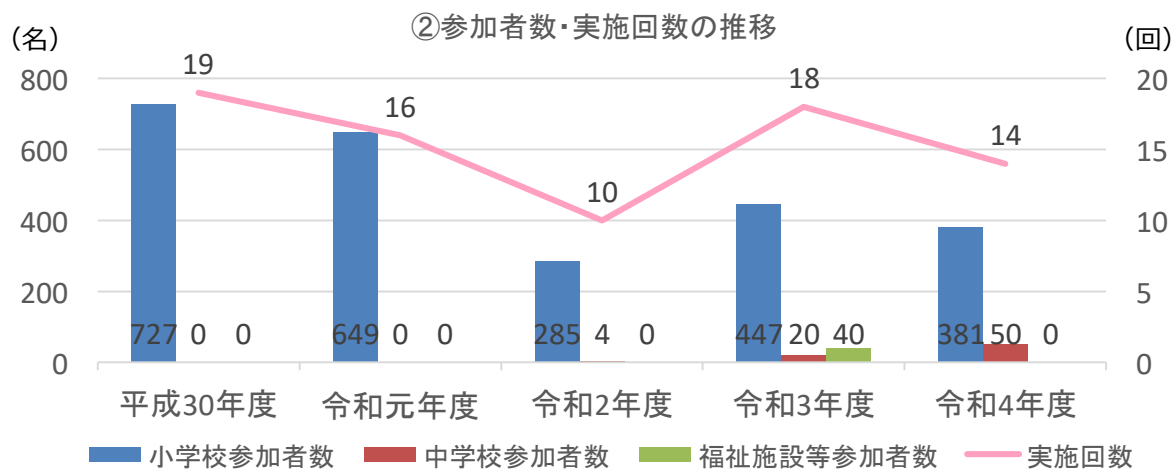
- ・食に関する知識や食の重要性は、子どもの頃からの体験学習や調理実習を通じて理解しているが、日常生活での実践や行動変容までには至っていない

### 2 これまでの取組

#### ①水産業団体と連携し、県内の小学校等や福祉施設で調理等の体験学習や出前授業の実施



#### ②地域の鮮魚店を講師として招聘し、県内の小中学校等で食卓に上がりやすい県内水産物を素材に学校給食の場を活用した調理実習を行う体験型の出前授業を実施



### 3 課題

- ・新型コロナウイルスの影響により、調理や試食を伴う活動の機会が減少
- ・調理実習の運営メンバーの高齢化等により後継者が不足

### 4 今後の方向性

- ・水産業団体と連携して事前の準備や当日の運営等を支援することにより、運営メンバーの負担軽減を図る
- ・事業の実施を通じて食の知識や実践力を伝承するとともに、保護者の参加を呼びかけ家庭での魚食普及を促していく

# 基本方針： 食の理解と継承

## (1) 食への感謝や食文化の継承

### 1 現状（傾向）

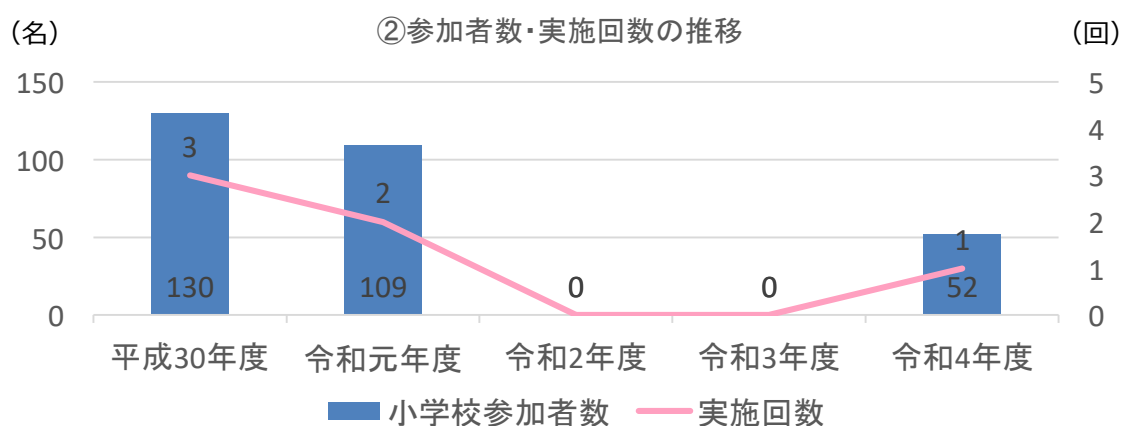
- ・食文化の多様化等により、漁業の盛んな地域であっても漁業に関わりのない家庭の児童生徒のほとんどは地元で獲れる魚や漁業のことを知らない

### 2 これまでの取組

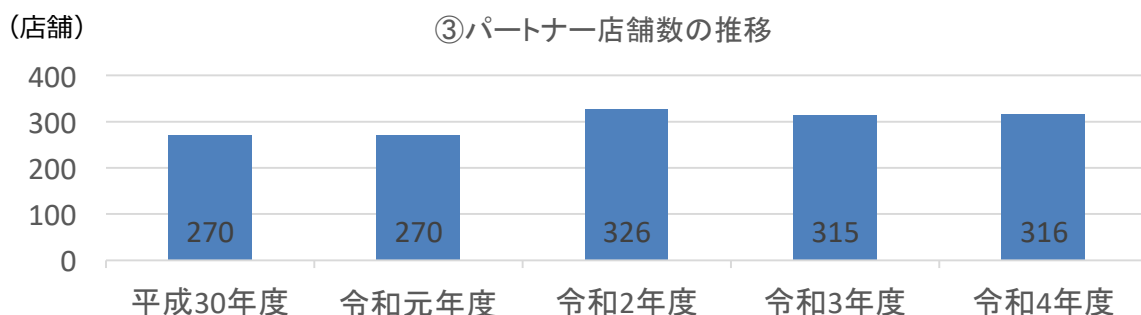
- ①水産業団体と連携し、県内の小学校等や福祉施設で調理等の体験学習や出前授業の実施

※実績はP20参照

- ②漁協女性部と連携し、地場産のカツオを使用した「カツオのたたき作り体験」の実施



- ③県内の水産物を取り扱う飲食店や小売店で積極的に県産水産物を使い、魚食を推進していただける事業者をパートナー店として認定する「今日はさかなにしよう」推進パートナー事業の実施



### 3 課題

- ・新型コロナウイルスの影響により、調理や試食を伴う活動の機会が減少
- ・家庭における魚離れ

### 4 今後の方向性

- ・食育事業の実施を通じて、県内の漁業や郷土料理に関する学習を深めるとともに、生産者や食物への感謝の心の醸成につなげる
- ・推進パートナー店の募集を引き続き実施し、県産水産物のPRに取り組む。

# 基本方針： 食の理解と継承

## (3) 地産地消の推進

### 1 現状（傾向）

日常生活では農林漁業に関する体験や生産者と関わる機会が少ない

### 2 これまでの取組

- ①水産業団体と連携し、県内の小学校等や福祉施設で調理等の体験学習や出前授業の実施  
※実績はP20参照
- ②漁協女性部と連携し、地場産のカツオを使用した「カツオのたたき作り体験」の実施  
※実績はP21参照
- ③県内の水産物を取り扱う飲食店や小売店で積極的に県産水産物を使い、魚食を推進していただける事業者をパートナー店として認定する「今日はさかなにしよう」推進パートナー事業の実施  
※実績はP21参照

### 3 課題

- ・新型コロナウイルスの影響により、調理や試食を伴う活動の機会が減少
- ・調理実習の運営メンバーの高齢化等により後継者が不足
- ・消費者における魚離れ

### 4 今後の方向性

今後も水産業団体と連携し、カツオのわら焼き体験や一本釣り模擬体験、魚のさばき方の学習や、それらの地場産品を使用した郷土料理作りや実食ならびにパートナー事業等を通じて地産地消の意識の醸成を図る

# 基本方針：食を育む環境づくり

## 目標項目：食生活改善推進員の数

### 1 目標達成状況

◎達成 ○改善傾向 △変わらない ×悪化傾向

目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
食生活改善推進員の数	1,800人 維持	1,841人	1,403人	×

### 2 現状（傾向）

- ・食生活改善推進員の数→悪化傾向にある（コロナの影響による活動自粛等により大きく減少）

### 3 これまでの取組

- ・市町村が開催する食生活改善推進協議会養成教室の実施
- ・養成においてポイント制を導入し、教室開催の負担軽減
- ・研修会や役員会等への情報提供及び助言等による育成支援

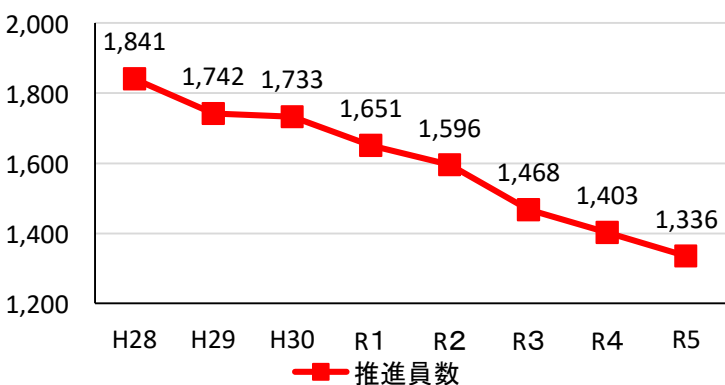
### 4 課題

- ・食生活改善推進員の増につながる定期的な養成教室の開催
- ・加入時においてヘルスマイト活動を魅力に感じるための工夫が必要
- ・ヘルスマイト活動を紹介する広報が必要

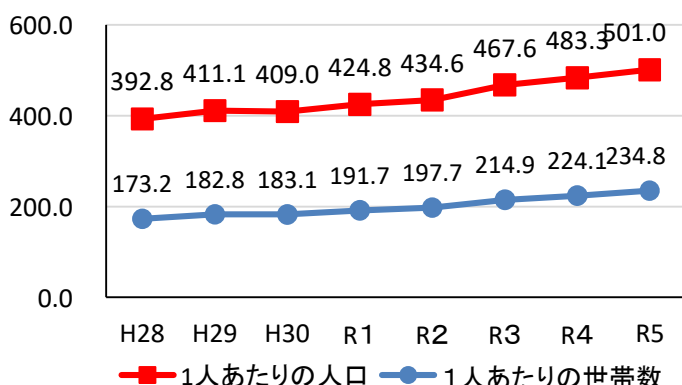
### 5 今後の方向性

- ・定期的な養成教室の開催
- ・養成教室参加者とヘルスマイトが協働する機会を増やす
- ・ヘルスマイト活動の広報

(人) 高知県食生活改善推進員数の推移



高知県食生活改善推進員の1人当たりの人口・世帯数の推移



# 基本方針：食を育む環境づくり

## 目標項目：食育に関心を持っている県民の割合

### 1 目標達成状況

◎達成 ○改善傾向 △変わらない ×悪化傾向

目標項目	目標値 令和5年度	計画策定時 平成28年度	直近の実績値 令和4年度	達成状況
食育に関心を持っている県民の割合	95%以上	54.1%	58.9%	○

### 2 現状（傾向）

- ・食育に関心を持つる県民の割合→改善傾向にある

### 3 これまでの取組

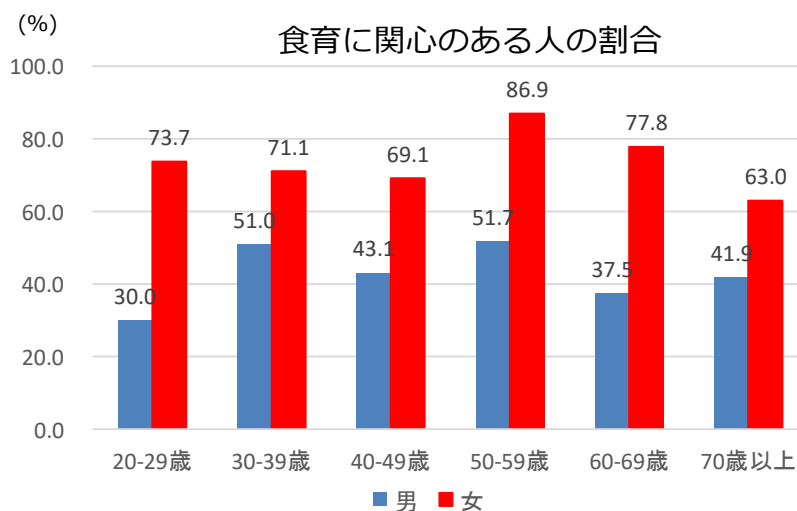
- ・学校・地域・農水産関係に「食育月間（6月）」「食育の日（毎月19日）」等の広報啓発活動について周知を行い、強化する期間に合わせた取組を推進
- ・イベントやポスター掲示等による広報の実施
- ・学校・地域・農水産関係団体が連携した取組の推進

### 4 課題

- ・食育の理解を深めるための普及啓発が必要

### 5 今後の方向性

- ・食育に関わる関係機関・関係団体と連携し、イベントやポスター掲示等による継続した普及啓発





## 第3期食育推進計画の 基本方針ごとの取組み（令和5年度）

項 目	取組内容
高知家の未来を担う子どもの食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育所・幼稚園における基本的な生活習慣の定着に向けた取組の実施</li> <li>② 生活リズムチェックカードの配布及び認定</li> <li>③ 「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2023」の実施</li> <li>④ 学校における食事提供事業、食育推進事業の実施（ICT教材の活用）</li> <li>⑤ 食に関する指導計画未作成校への作成支援</li> <li>⑥ 水産関係団体等と連携した調理等の体験学習や出前授業の実施</li> <li>⑦ 学校の授業における副読本を活用した健康教育の実施</li> <li>⑧ 地域の住民組織の参画による児童生徒への健康教育と家庭への波及 朝食摂取率の低い課題校（9校）も含めた実施</li> </ul>
健康長寿を実現する食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>① デジタル化を活かした「高知家健康パスポート」事業の拡充</li> <li>② 職場の健康づくり対策の推進</li> <li>③ 高知家健康チャレンジによる健康づくり総合啓発（テレビCM）</li> <li>④ 推定塩分摂取量の測定結果の活用による保健指導の充実</li> <li>⑤ 健康づくりひとくちメモでの広報</li> <li>⑥ 低栄養予防レシピの普及啓発</li> <li>⑦ オーラルフレイル予防プログラムマニュアルを作成し、各市町村に展開</li> </ul>
食の理解と継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 郷土料理伝承講習会の実施</li> <li>② 直販所の経営力向上支援</li> <li>③ 食品安全や食品表示に関する普及啓発</li> <li>④ 水産業団体との連携による家庭での魚食普及</li> <li>⑤ 学校給食における地場産品活用率が低い地域への活用に向けた取組支援</li> <li>⑥ 南海トラフ地震時栄養・食生活支援活動ガイドラインVer2に対応した 市町村保健活動マニュアルへの支援</li> </ul>
食を育む環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 食生活改善推進員の養成・育成の支援</li> <li>② 行政栄養士の人材育成（新任期・中堅期・全対象）</li> <li>③ 高知家健康チャレンジによる量販店等での普及啓発</li> <li>④ 関係機関に食育月間等の周知と取組の依頼</li> <li>⑤ 地域の住民組織による「食育月間」「食育の日」等に併せたイベントの開催</li> <li>⑥ 「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2023」へ協力</li> </ul>

基本方針

## 第4次 食育推進基本計画の基本的な方針

食育推進基本計画は、食育基本法に基づき、食育の推進に関する基本的な方針や目標について定めています。第4次食育推進基本計画では、これまでの5年間の取組による成果と、SDGsの考え方を踏まえ、多様な主体と連携・協働し、今後5年間、3つの重点事項を柱に取組と施策を推進していきます。

食育により、社会全体で連携・協働して持続可能な食料システム(フードシステム)を構築することが期待されています。

### 3つの重点事項

本計画では、日本人の健康や食を取り巻く環境の変化、社会のデジタル化など、食育をめぐる状況を踏まえ ①生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進 ②持続可能な食を支える食育の推進

③「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進 に重点をおいた取組が求められます。



### 食育とSDGsの関係性

「持続可能な開発のための2030アジェンダ」は、17の目標と169のターゲットから成る「SDGs(持続可能な開発目標)」を掲げ、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指しています。

SDGsの目標には、「目標2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する」、「目標4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、「目標12. 持続可能な生産消費形態を確保する」などの食育と関係が深い目標があります。



## 第4期計画の基本的な方向

【目標】食を通じて豊かな人間性を育み、健全な食生活を営む力を養う

### 目指す姿

#### 第3期(H30～R5)

元気なからだをつくる健全な食生活の実現

高知のおいしい食材・食文化を楽しむ・伝え、豊かな心を培う

地域とのつながり・絆を大切に  
した高知家ぐるみの食育の実践

#### 第4期(R6～R11)

元気なからだをつくる健全な食生活の実現

高知のおいしい食材・食文化を楽しむ・伝え、豊かな心を培う

地域とのつながり・絆を大切に  
した高知家ぐるみの食育の実践

### 基本方針

#### 高知家の未来を担う子どもの食育の推進

- ・基礎的な食に関する知識の習得
- ・食の実践力の獲得
- ・食の楽しさ・食事のマナーの定着

#### 高知家の未来を担う子どもの食育の推進

- ・基礎的な食に関する知識の習得
- ・食の実践力の獲得
- ・食の楽しさ・食事のマナーの定着

#### 健康長寿を実現する食育の推進

- ・減塩や野菜摂取量を満たすバランスのとれた食生活の実践
- ・生活習慣病の予防と改善
- ・健康寿命を延ばす低栄養の予防
- ・豊かな食生活のための歯と口の健康づくり

#### 健康長寿を実現する食育の推進

- ・減塩や野菜摂取量を満たすバランスのとれた食生活の実践
- ・生活習慣病の予防と改善
- ・健康寿命を延ばす低栄養の予防
- ・豊かな食生活のための歯と口の健康づくり

#### 食の理解と継承

- ・食への感謝や食文化の継承
- ・食の安全・安心の確保
- ・地産地消の推進
- ・災害時の栄養・食生活支援の取組

拡

#### 持続可能な食の理解と継承

- ・食への感謝や食文化の継承
- ・**環境に配慮した食育の推進**
- ・食の安全・安心の確保
- ・地産地消の推進
- ・災害時の栄養・食生活支援の取組

新

#### 食を育む環境づくり

- ・食育に関する人材育成
- ・企業や関係団体などとの連携
- ・県民運動の推進

#### 食を育む環境づくり

- ・食育に関する人材育成
- ・企業や関係団体などとの連携
- ・県民運動の推進

新

・**デジタル化への対応**

# 各計画の計画期間

計 画 名	計 画 期 間												
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
高知県食育推進計画	第3期(H30~R5)					第4期(R6~R11)							
高知県健康増進計画 (よさこい健康プラン21)	第4期(H30~R5)					第5期(R6~R11) ※R11で中間見直し							
高知県歯と口の健康づくり 基本計画	第2期(H29~R3)			第3期(R4~R8)									
高知県食の安全・安心推進計画	第3次(H29~R3)				第4次(R4~R8)								
高知県保健医療計画	第7期(H30~R5)					第8期(R6~R11)							
高知県循環器病対策推進計画					第1期 (R4~R5)		第2期(R6~R11)						
高知県高齢者保健福祉計 画・介護保険事業支援計画	第7期 (H30~R2)		第8期 (R3~R5)			第9期 (R6~R8)							
高知県次世代育成支援行動計画 (改定版)	前期計画 (H27~R1)			後期計画 (R2~R6)									
高知県教育振興基本計画	第2期 (H28~R1)		第3期(R2~R5)										
高知県産業振興計画	第3期 (H28~R元)		第4期 (R2~R5)										
高知県食品ロス削減推進計画					第1期(R4~R7)				第2期(R8~R12)				
食育推進基本計画(国)	第3次 (H28~R2)			第4次(R3~R7)									

## 第 4 期高知県食育推進計画骨子（案）

### 第 1 章 計画の基本的事項

- 第 1 節 計画策定の趣旨
- 第 2 節 計画の位置づけ
- 第 3 節 計画の期間
- 第 4 節 第 4 期計画の指標の評価

### 第 2 章 食育に関わる現状と課題

- 第 1 節 県民の健康づくりをめぐる状況
- 第 2 節 県民の栄養・食生活の状況

### 第 3 章 目指す食育推進の方向

- 第 1 節 食育の目標
- 第 2 節 目指す姿
- 第 3 節 基本方針
- 第 4 節 計画の施策体系

### 第 4 章 具体的な取組

- 第 1 節 高知家の未来を担う子どもの食育の推進
  - (1) 基礎的な食に関する知識の習得
  - (2) 食の実践力の獲得
  - (3) 食の楽しさ・食事のマナーの定着
- 第 2 節 健康長寿を実現する食育の推進
  - (1) 減塩や野菜摂取量を満たすバランスのとれた食生活の実践
  - (2) 生活習慣病の予防と改善
  - (3) 健康寿命を延ばす低栄養の予防
  - (4) 豊かな食生活のための歯と口の健康づくり

#### 拡 第 3 節 持続可能な食の理解と継承

- (1) 食への感謝や食文化の継承
- 新 (2) 環境に配慮した食育の推進**
- (3) 食の安全・安心の確保
- (4) 地産地消の推進
- (5) 災害時の食生活・食支援の取組

#### 第 4 節 食を育む環境づくり

- (1) 食育に関する人材育成
- (2) 企業や関係団体などとの連携
- (3) 県民運動の推進

#### **新 (4) デジタル化への対応**

## 第5節 多様な関係者の連携・協働の強化

- (1) 行政、教育機関、保健医療福祉、生産販売等食育の推進によるネットワークの強化
- (2) あらゆる場での積極的な食育に関する情報発信

## 第5章 食育推進の評価指標

### 第1節 評価指標の考え方

### 第2節 食育の推進にあたっての指標

## 第6章 計画の推進方法

### 第1節 計画の推進体制

### 第2節 関係者の役割

#### (参考資料)

- 1 高知県食育推進協議会の開催の経過と内容
- 2 高知県食育推進協議会の委員名簿
- 3 食育推進に関する県の窓口
- 4 食育基本法
- 5 令和4年高知県県民健康・栄養調査の概要（抜粋）

## 第 4 期高知県食育推進計画策定スケジュール

時期	内 容
4月	令和 4 年 高知県県 民健康・ 栄養調査 分析
5月	
6月	
7月	
7月	第1回協議会 ・第3期計画の評価 ・第4期計画基本方針・骨子案
8月	
9月	
10月	第2回協議会 ・目標値案 ・第4期計画原案
11月	
12月	パブリックコメント
1月	第3回協議会 ・第4期計画承認
2月	
3月	